

平成27年度

## 2回生進級時アンケート報告書

京 都 大 学 国 際 高 等 教 育 院

京都大学高等教育研究開発推進センター

・ 高等教育教授システム研究開発部門

## 目次

調査の趣旨と概要.....	1
1 学習意欲などの変化.....	3
1.1 学習意欲の変化.....	3
1.2 出席コマ数の変化.....	6
1.3 授業外学習時間の変化.....	8
2 成績評価への納得度.....	10
2.1 成績評価全体への納得度.....	10
2.2 成績評価に納得できない理由.....	12
2.3 「納得できない理由：その他」の記述内容.....	13
3 「満足した科目」「不満だった科目」.....	14
3.1 「満足した科目」とその理由.....	14
3.1.1 科目群別の集計.....	14
3.1.2 「満足した理由」の分析.....	15
3.1.3 「満足した理由：その他」の記述内容.....	17
3.2 「不満だった科目」とその理由.....	19
3.2.1 科目群別の集計.....	19
3.2.2 「不満だった理由」の分析.....	20
3.2.3 「不満だった理由：その他」の記述内容.....	22
4 全学共通科目への期待.....	25
4.1 全学共通科目に期待する内容.....	25
5 期待は実現されたか.....	28
5.1 全学共通科目への期待は実現されたか.....	28
6 今後の全学共通科目への要望.....	30
6.1 項目別集計.....	30
6.2 「改善の要望：その他」の記述内容.....	32
7 自由記述.....	34
7.1 総合人間学部.....	34
7.2 文学部.....	34
7.3 教育学部.....	36
7.4 法学部.....	36
7.5 経済学部.....	38
7.6 理学部.....	39
7.7 医学部.....	41
7.8 薬学部.....	43
7.9 工学部.....	43
7.10 農学部.....	47
【資料】平成27年度2回生進級時アンケート（KULASIS掲載内容）.....	50

## 調査の趣旨と概要

対 象：学部新2回生（平成26年入学生対象）全員

調査の目的：学生が入学後1年間の大学生活の中で京都大学の教育に対してどのような感想を抱いたかについて2回生進級時点での意見を聞き、今後の京都大学の教育を改善・充実してゆくための重要な資料とする。

調査の概要：新入生ガイダンスの際、記入してもらった「新入生アンケート」の回答を学生に返却し、自分の入学当時の抱負・期待を読み返しつつ、1年間の全学共通科目を中心とした学習を振り返って、どんなことを感じあるいは考えたかについて率直な意見を表明してもらうよう求めている。

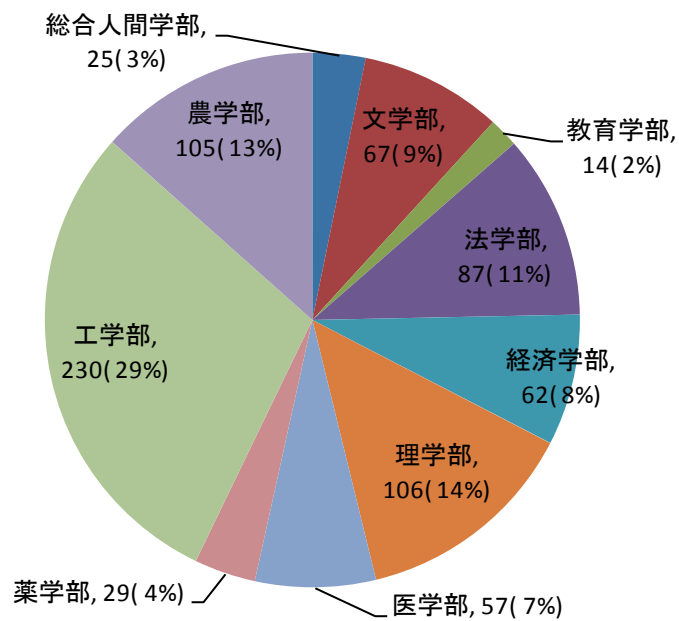
調査方法：KULASIS（京都大学教務情報システム）上でのアンケート方式をとっている。

平成27年4月、各学部新2回生が履修登録確認のためKULASISにログインした際、アンケートへの協力願いを掲示し、回答フォームに入力してもらうという方式をとった（アンケート全文は末尾に添付している）。

表 0-1 学部別アンケート提出者数・提出率

学部	在籍者数 (2015/5/1現在)			提出者数	提出率
	計	男	女		
総合人間学部	125	86	39	25	20.00%
文学部	225	128	97	67	29.78%
教育学部	62	35	27	14	22.58%
法学部	336	242	94	87	25.89%
経済学部	252	202	50	62	24.60%
理学部	319	286	33	106	33.23%
医学部	258	124	134	57	22.09%
薬学部	84	61	23	29	34.52%
工学部	983	886	97	230	23.40%
農学部	320	220	100	105	32.81%
合計	2,964	2,270	694	782	26.38%

図 0-1 学部別アンケート提出者数・構成比



## 1 学習意欲などの変化

問1 あなたの入学以降の学習についてお尋ねします。入学当初から現在までに、あなたの①学習意欲、②一週間に出席した授業のコマ数、③授業外の学習時間（授業の予復習や学術書・教養書の読書を含む）がどのように変化したかについて、右の「作成例」を参考にして表を完成させてください（学習意欲については、下記の5つから選択して番号を記入してください）。

(学習意欲) 5. 非常に意欲あり 4. まあまあ意欲あり 3. どちらともいえない  
2. あまり意欲なし 1. まったく意欲なし

(作成例)

時期	学習意欲	授業出席コマ数/週	授業外学習時間/日	時期	学習意欲	授業出席コマ数/週	授業外学習時間/日
入学当初		コマ	時間	入学当初	5	15コマ	1.5時間
前期半ば		コマ	時間	前期半ば	4	〃	〃
後期開始		コマ	時間	後期開	4	4コマ	3時間
後期半ば		コマ	時間	後期半ば	4	〃	〃
現在		コマ	時間	現在	1	12コマ	

\*あまり深く考えず「平均」「おおよそ」でご記入ください

\*現在の「授業出席コマ数」は、4月から出席を予定しているコマ数を記入してください

### 1. 1 学習意欲の変化

1回生から2回生にかけての5つの時期を通しての学生の学習意欲の変化を、全学部・文系・理系の別に平均値で見ると、**図1-1-1**のようになった。全体として、入学当初にはかなり高かった学習意欲が、時期が進むにつれて、とくに後期において、かなり低下する様子が見て取れる。2回生の新年度を迎えて、心機一転、学習しようとする意欲がかいま見える。

**図1-1-2**に2005-2015年の経年変化（全体）を、**図1-1-3**に（文系・理系）を示す。全体的には、例年に比べ、“前期半ば”から“後期開始”にかけて得点がわずかに上昇している点以外、入学当初から現在までの学習意欲の変化のパターンは例年とさほど変わらない。文系・理系別にみると、文系では“前期半ば”の得点が例年より低くなっており、“後期開始”との得点差が例年より大きくなっている。

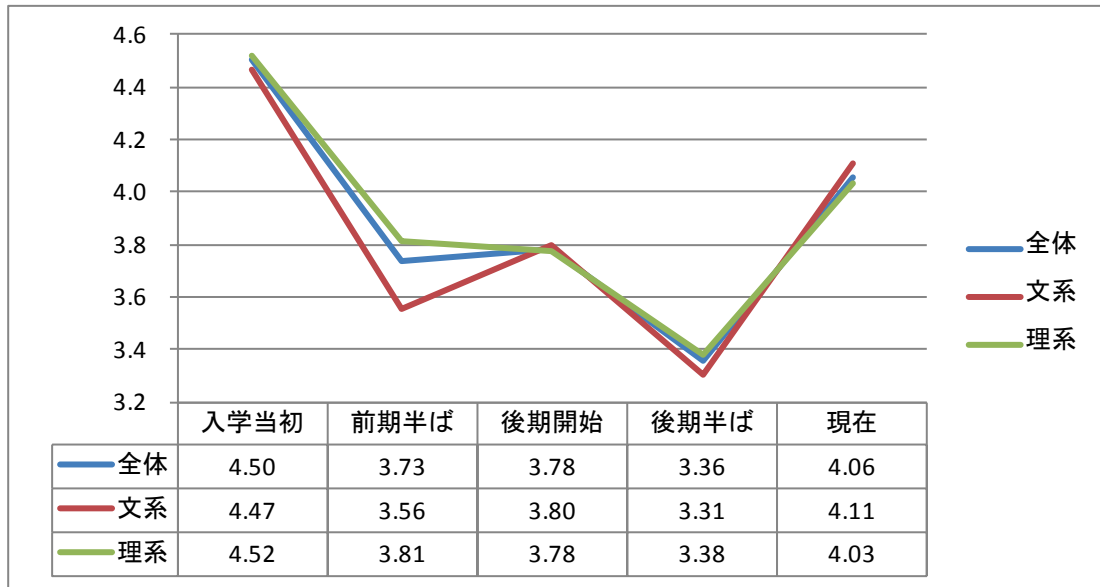


図 1-1-1 学習意欲の変化 (2015 年)

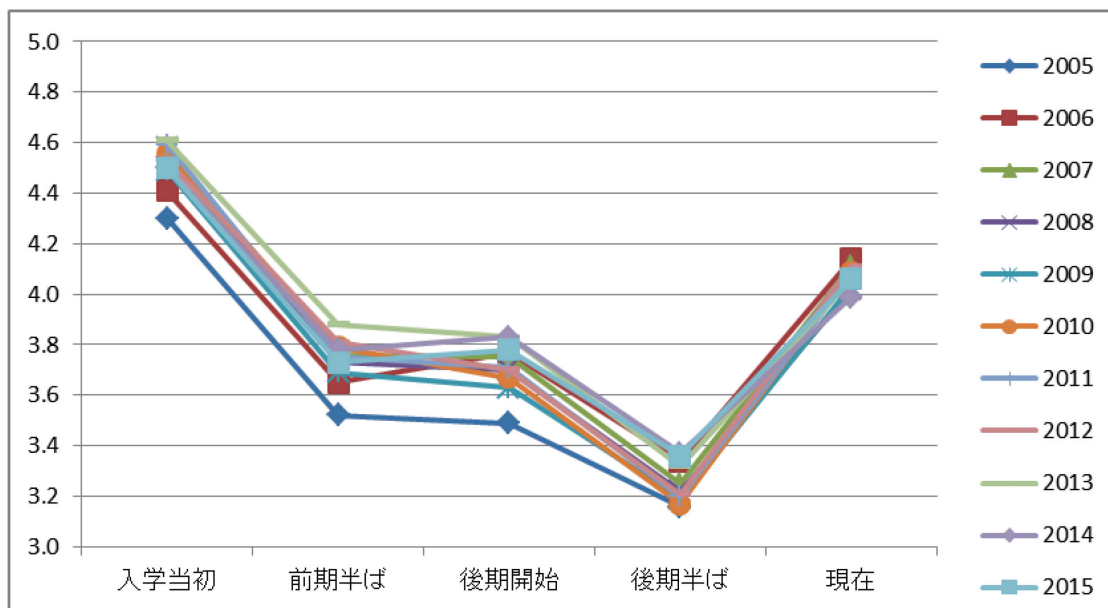


図 1-1-2 学習意欲の経年変化 (2005-2015 年) (全体)

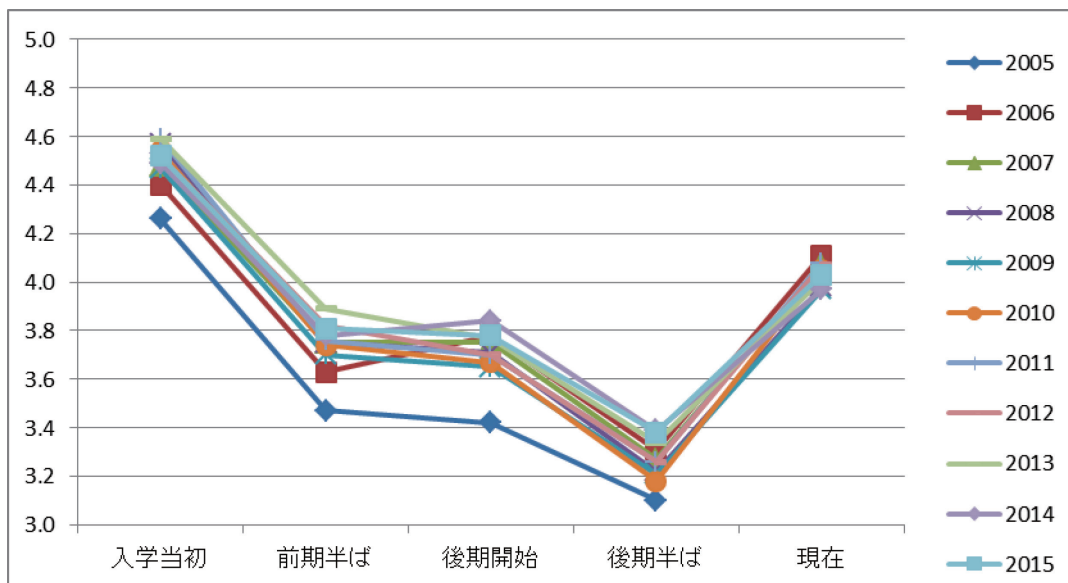
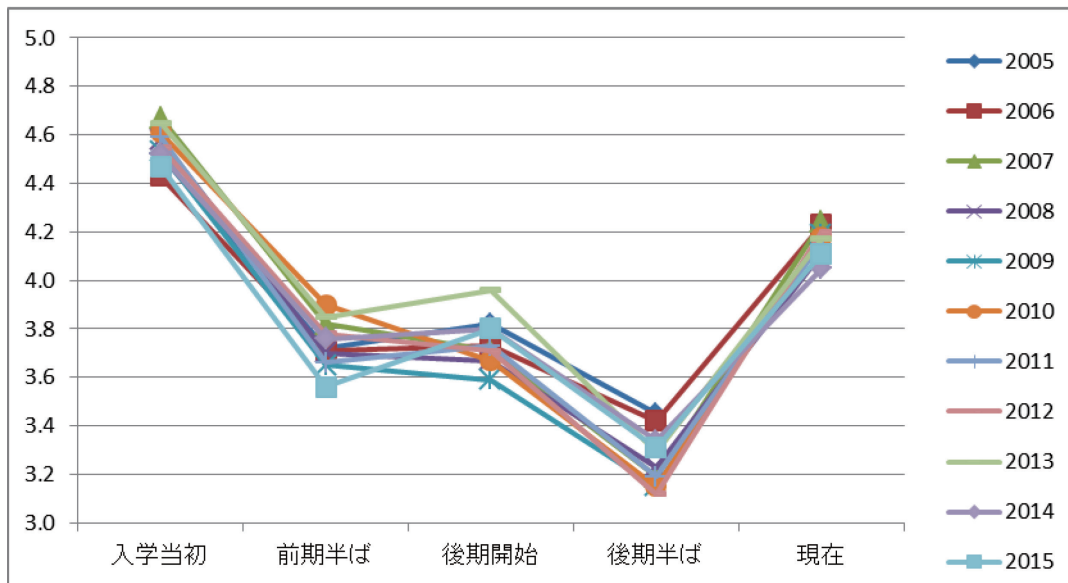


図 1-1-3 学習意欲の経年変化 (2005-2015 年) (上 : 文系 下 : 理系)

## 1. 2 出席コマ数の変化

1 回生から 2 回生にかけての出席コマ数の変化を、全学部・文系・理系の別に平均値で見ると、**図 1-2-1** のようになった。全体として、入学当初は平均 16～18 コマ出席していたものが、徐々に減少し、後期半ばには平均 13～14 コマとなっている。入学当初から後期半ばにかけては、理系が文系よりも出席コマ数が多い。

**図 1-2-2** に 2005-2015 年の経年変化（全体）、**図 1-2-3** に（文系・理系）を示す。それを見ると、入学当初から現在までの出席コマ数の変化パターンは、年によってさほど変わらないが、2015 年の“入学当初”の出席コマ数は、2005 年以降の出席コマ数の中でもっとも少ない。昨年度に引き続き、2013 年に全学共通科目の履修上限を導入したことが効いていると考えられる。

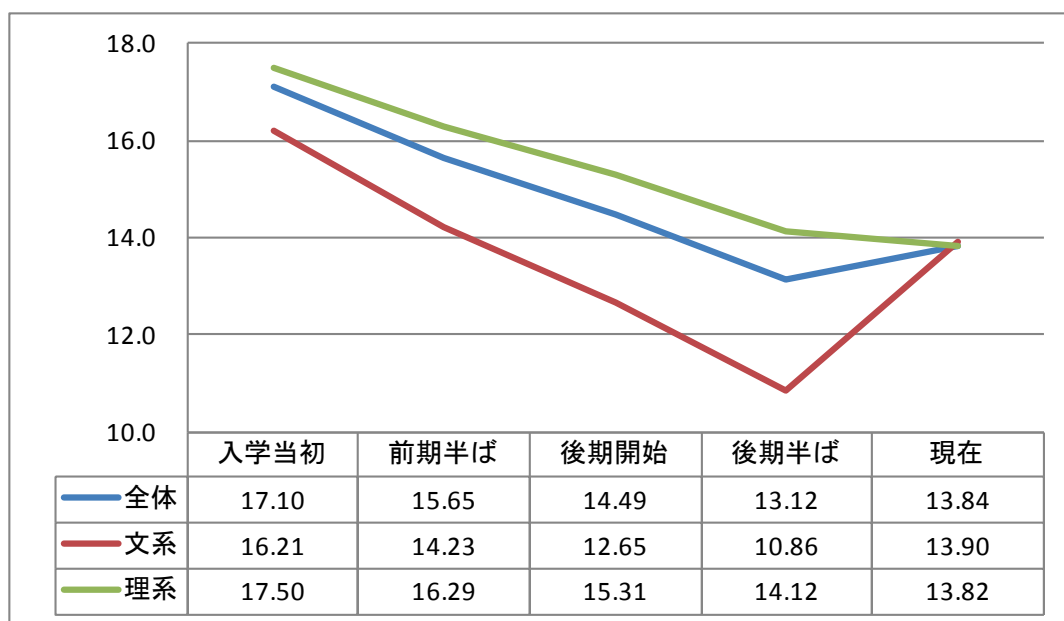


図 1-2-1 出席コマ数の変化（2015 年）

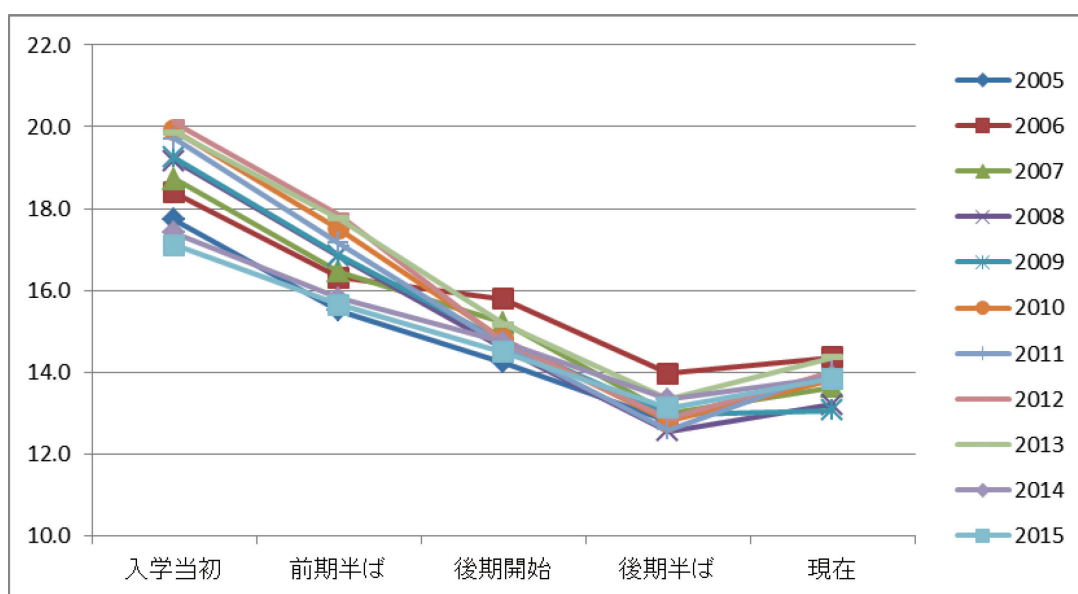


図 1-2-2 出席コマ数の変化（2005-2015 年）（全体）



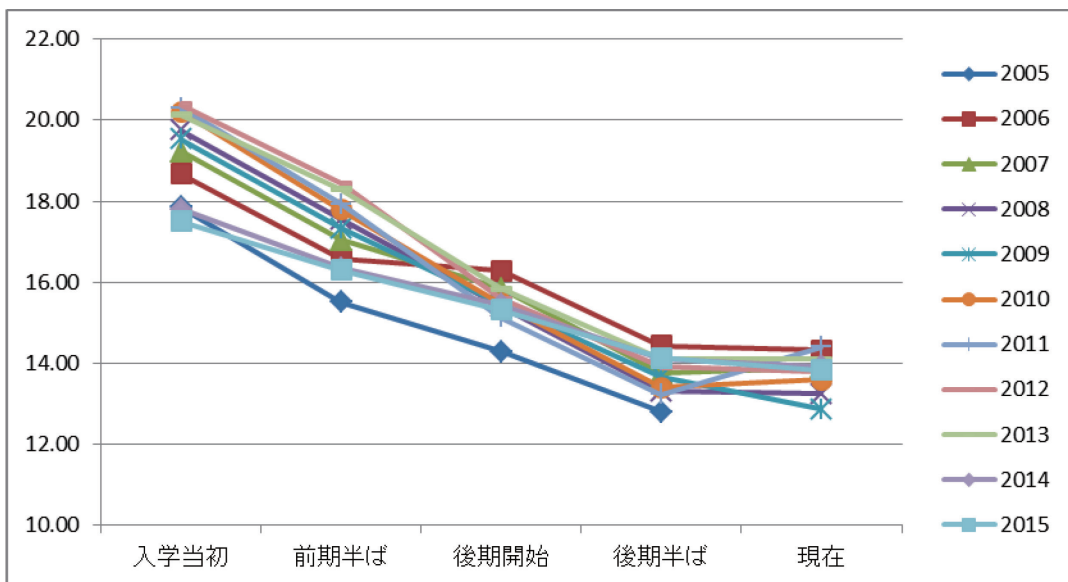
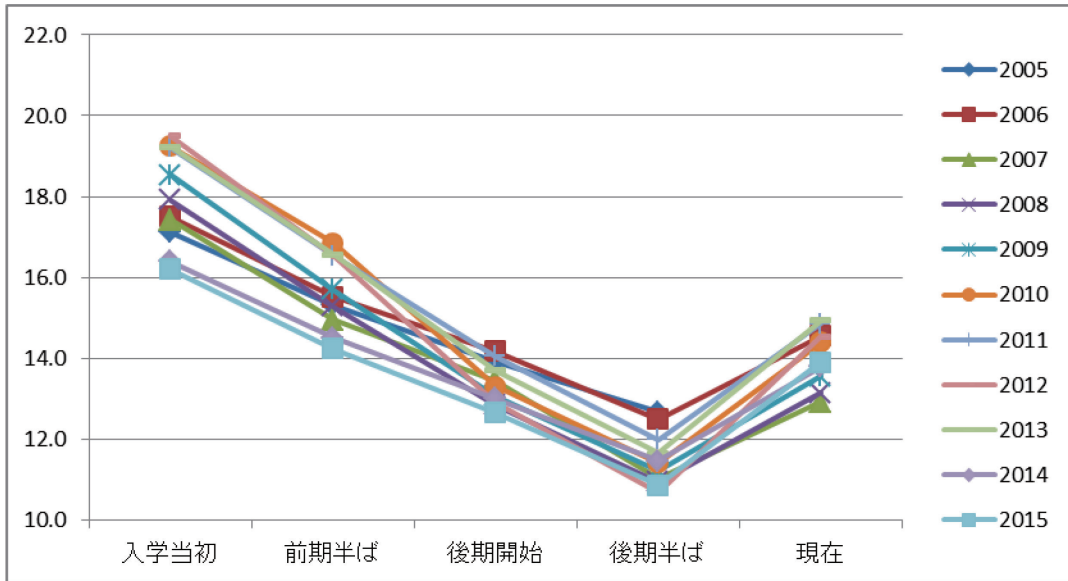


図 1-2-3 出席コマ数の変化 (2005-2015 年) (上 : 文系 下 : 理系)

### 1. 3 授業外学習時間の変化

1 回生から 2 回生にかけての授業外学習時間の変化を、全学部・文系・理系の別に平均値で見ると、**図 1-3-1** のようになった。全体的に 2.5～3.0h/日の授業外学習時間である。どの時期においても、理系は文系よりも授業外学習時間が長くなっている。

**図 1-3-2** に 2005-2015 年の経年変化（全体）を示す。それを見ると、2007 年以降全体的に授業外学習時間が長くなっていることがわかる。ただし直近 2013 年、2014 年の 2 年と今年度を比較すると、授業外学習時間が短くなっていることが見て取れる。この傾向は、文系において顕著にみられるが、理系では 2013 年、2014 年度と得点に大きな変化はない（**図 1-3-3** を参照）。

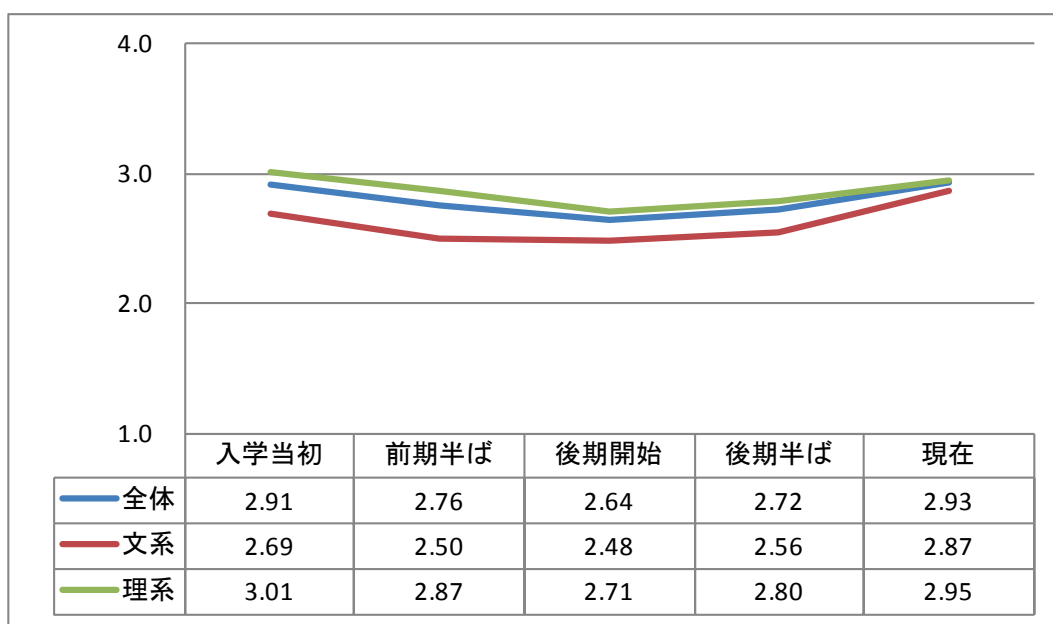


図 1-3-1 授業外学習時間の変化（2015 年）

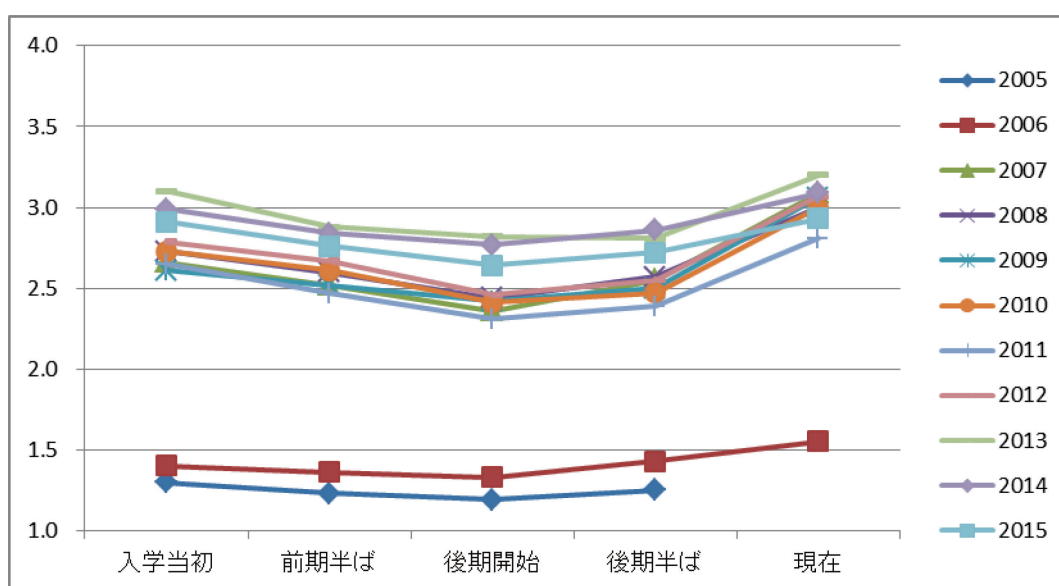


図 1-3-2 授業外学習時間の変化（2005-2015 年）（全体）

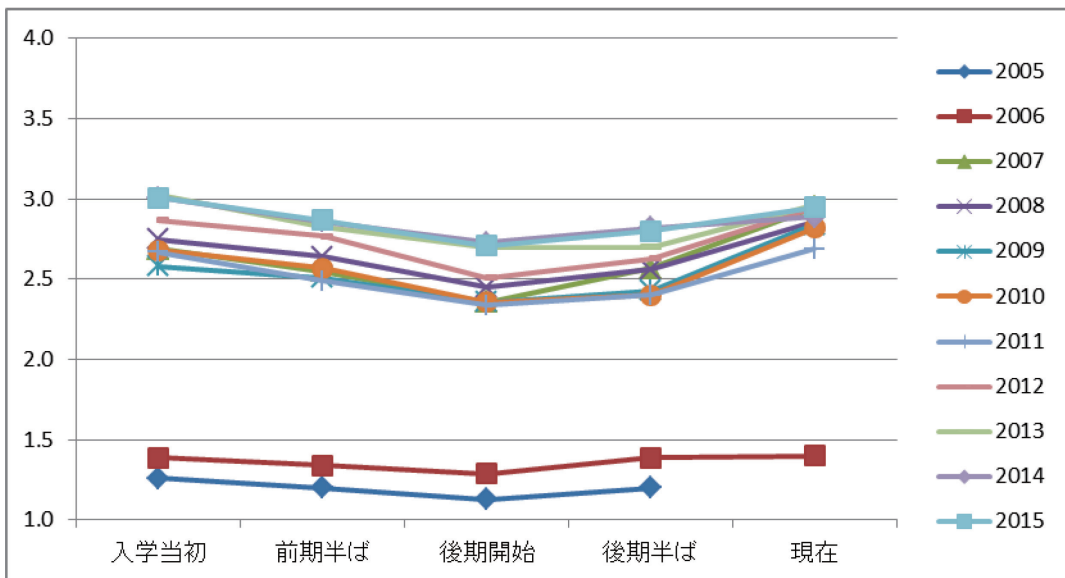
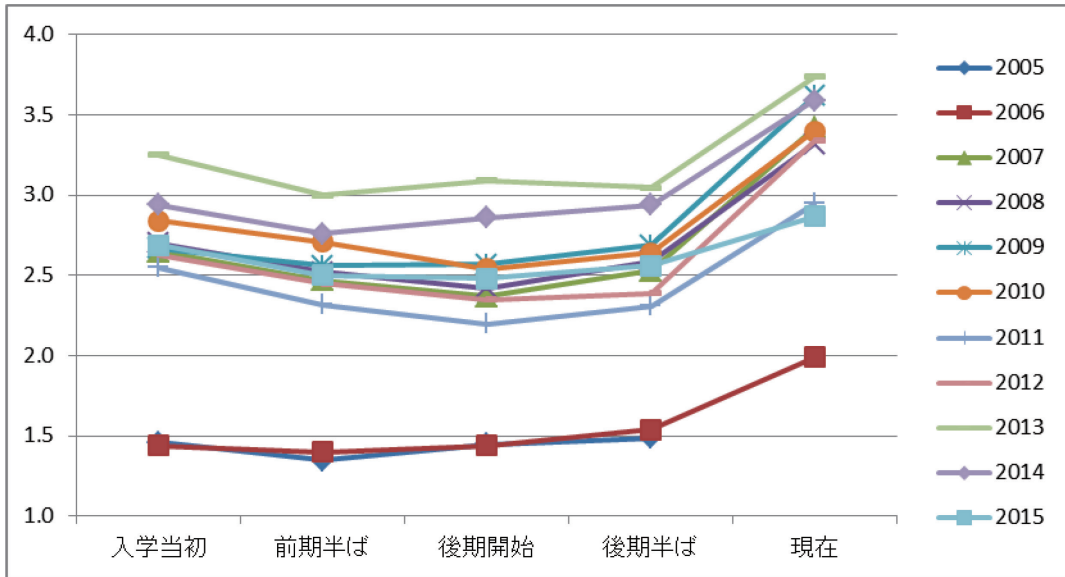


図 1-3-3 授業外学習時間の変化 (2005-2015 年) (上 : 文系 下 : 理系)



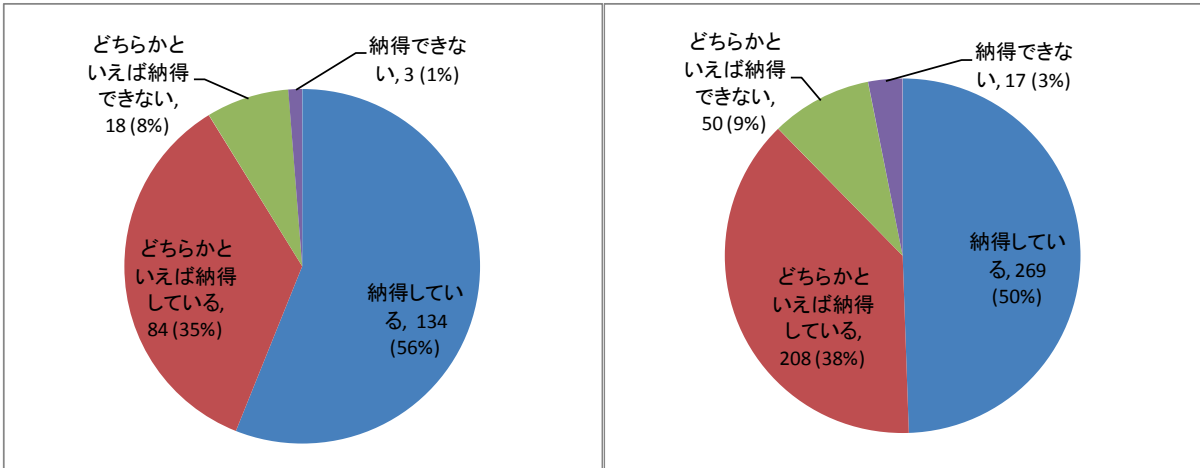


図 2-1-2 成績評価全体への納得度 (2015 年) (左 : 文系 右 : 理系)

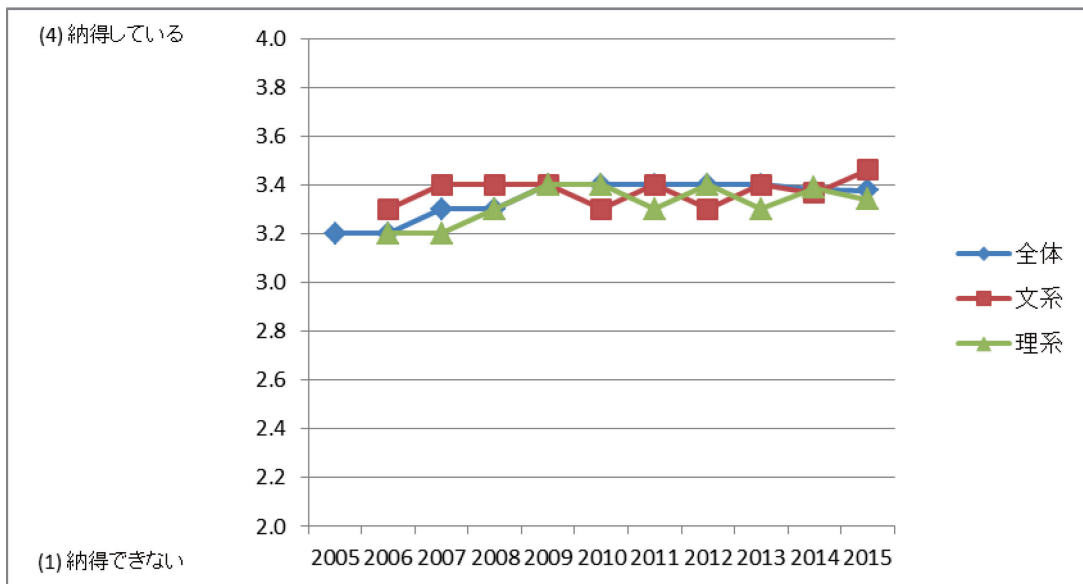


図 2-1-3 成績評価全体への納得度 (2005-2015 年)

## 2. 2 成績評価に納得できない理由

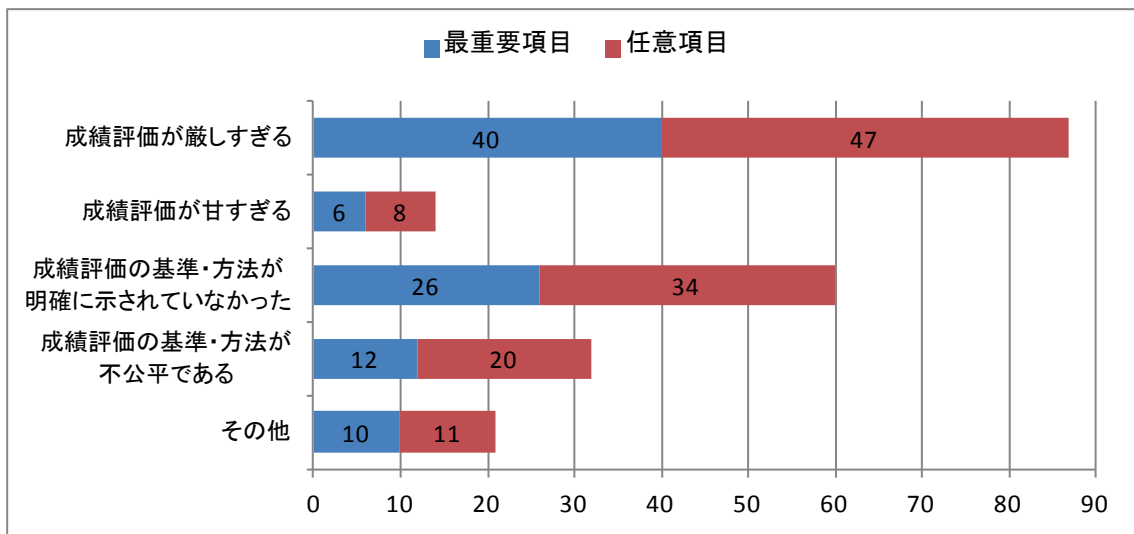


図 2-2-1 成績評価に納得できなかった理由・項目別集計（全体）

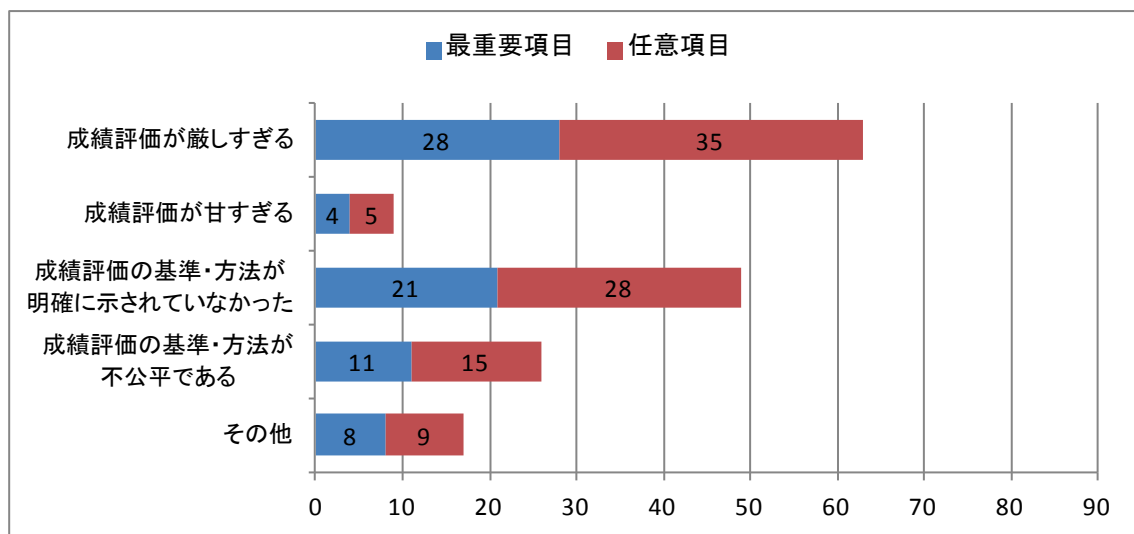
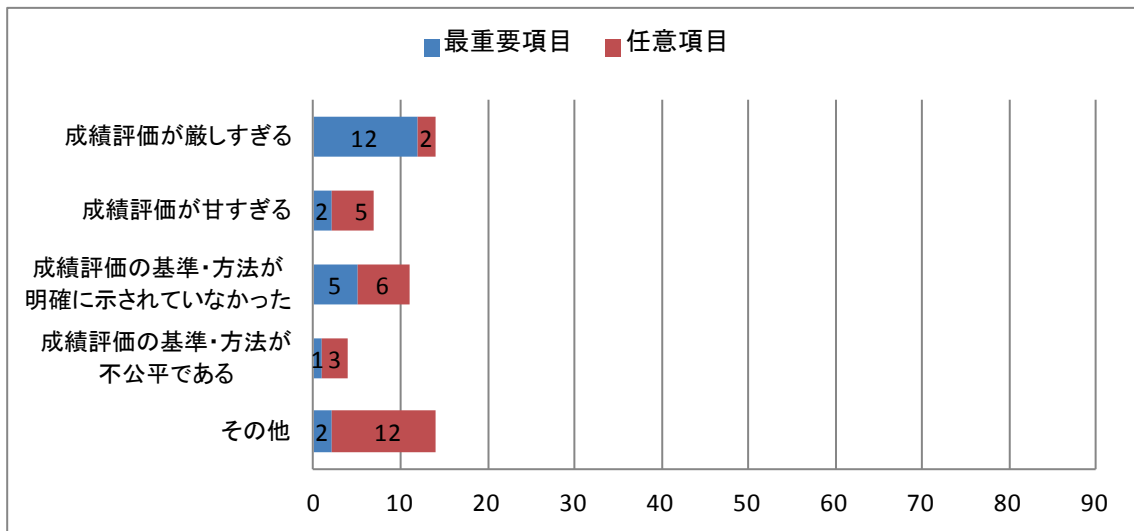


図 2-2-2 成績評価に納得できなかった理由・項目別集計（上：文系 下：理系）

## 2. 3 「納得できない理由：その他」の記述内容

末尾の【 】内に学部名・性別を記載した。

なお、修正を加えず、誤字・脱字もそのまま記載している。

- 自身の勉強不足。【総人・男】
- 出席点がきびしかった【理・男】
- 点数で出してもらえないと、秀にならない【医・女】
- 同じ授業によっても担当教師によって評価が大幅に変わるのは不公平感が否めない。救済があるのはありがたいが、救済で加点している分、他の生徒も加点してくれなければ真面目にやるのがバカに思える。【工・男】
- テスト勉強が不十分だった。【工・男】
- 努力量と成績の良さが比例しない【法・女】
- 勉強しなさすぎた【農・男】

### 3 「満足した科目」「不満だった科目」

#### 3. 1 「満足した科目」とその理由

問3 あなたが1回生のときに履修した全学共通科目についてお尋ねします。

A. あなたがとくに満足した科目をいくつか思い浮かべてください（もし満足した科目がなければBに進んでください）。

下記の表に、それらの科目名（3つまで）をご記入ください。登録群は、人社、自然、外国語、現社、拡大のうちの1つを選択してください。また、それぞれの科目について満足した理由として、あてはまるすべてのものに□チェックをつけ、最も重要なもの一つを選択してください。

##### 科目1

科目名：（自由記述）

登録群：（人社・自然・外国語・現社・拡大から選択）

あてはまる理由すべてにチェックをつけてください

- 1 授業の内容が興味深かった
- 2 学生の予備知識や理解度をよく考慮してくれた
- 3 授業の進め方に工夫がみられた
- 4 担当教員の熱意を感じた
- 5 成績評価の方法や結果に納得できた
- 6 その他（自由記述）

上記のうち、最も重要なものを選んでください（1～6から選択）

（以下、科目2、3も同様）

#### 3. 1. 1 科目群別の集計

「満足した科目」を、登録群（人社・自然・外国語・現社・拡大から選択）の構成比によって集計すると、**図 3-1-1** のようになった。全体では「人社」科目がもっとも多く、次いで多かったのは「自然」科目であった。この傾向は文系でより顕著であった。「満足した理由」（**図 3-1-2a** を参照）は、「授業の内容が興味深かった」が圧倒的に多く、次いで多かったのは「担当教員の熱意を感じた」であった。この傾向に文理の差は見られなかった（**図 3-1-2b** を参照）。



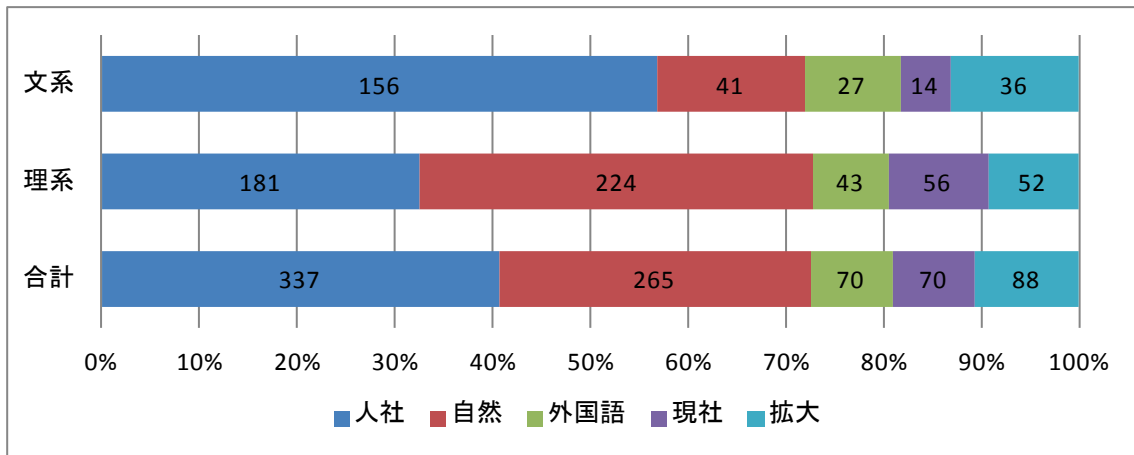


図 3-1-1 「満足した科目」科目群別科目数（構成比）

3. 1. 2 「満足した理由」の分析

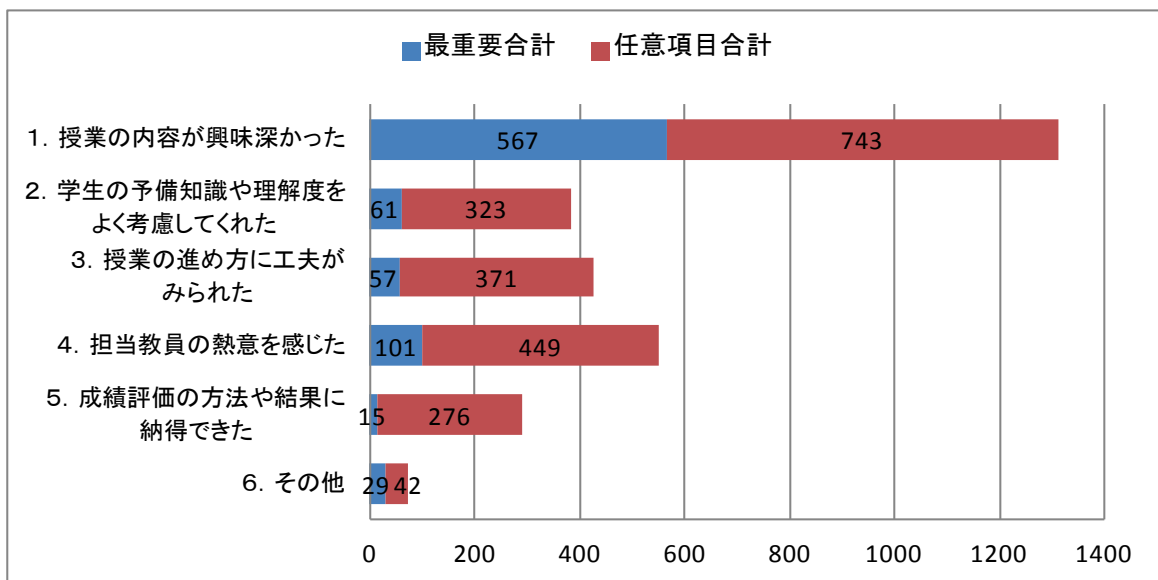


図 3-1-2a 「満足した理由」項目別集計（全体）

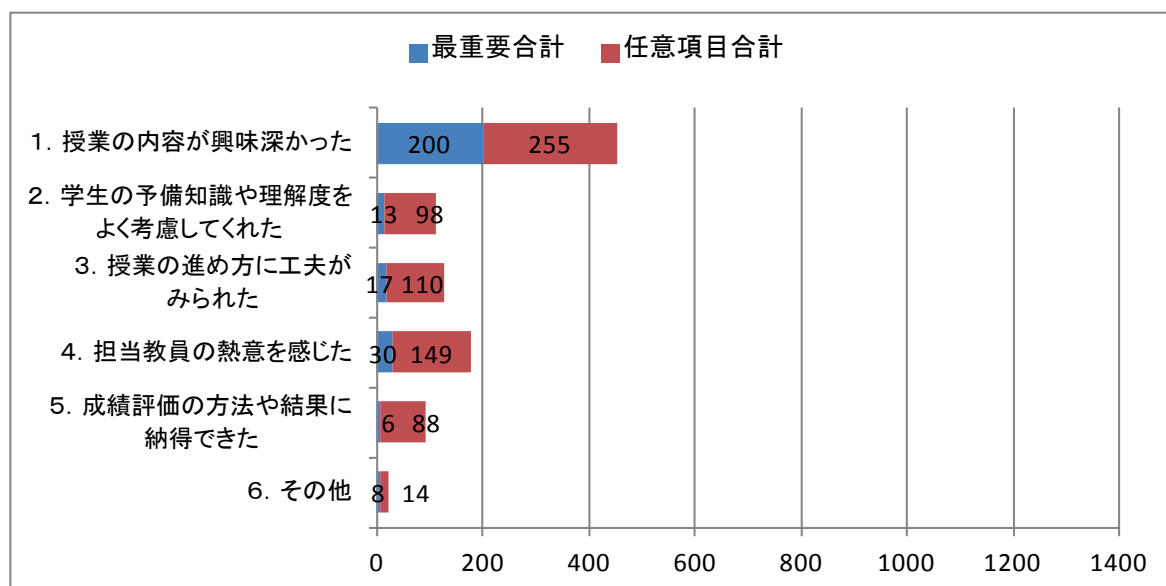
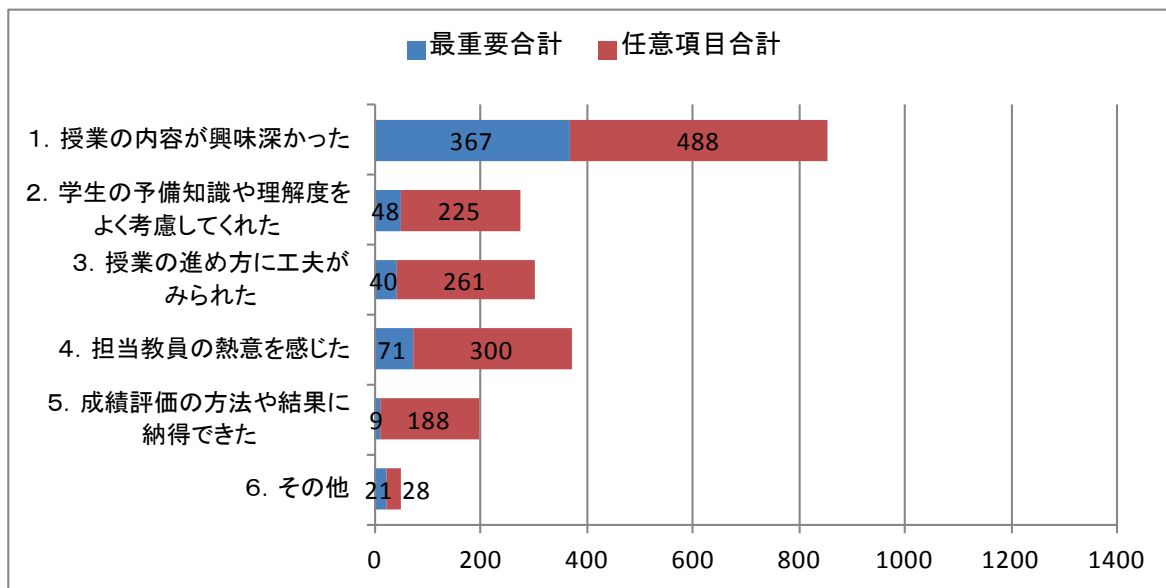


図 3-1-2b 「満足した理由」項目別集計（上：文系 下：理系）

### 3. 1. 3 「満足した理由：その他」の記述内容

「満足した理由」の「6 その他」については、その内容を自由記述方式で尋ねている。

以下、人社群、自然群、外国語群、現社群、拡大群の別に、記述内容を掲載する。

なお、末尾の【 】内に学部名・性別を記載した。修正を加えず、誤字・脱字もそのまま記載している。

#### ■人社群科目

- 理論の構築の仕方が参考になった【総・男】
- 先生が面白かった【総・女】
- The instructor was the most learned and experienced enough to deliver the lecture.  
【文・男】
- 京都学派に関する知識を実地に出向くことで体験させてもらう機会が多かった【文・男】
- 中国語を学ぶ気になった。【文・男】
- 説明が非常にわかりやすかった。理路整然とした解説に感動。自分もこのような話し方ができるようになりたいと思った。【教・男】
- 聞いていて楽しくてしょうがない講義がいくつかあった（人麻呂、旅人、防人の話）。また、萬葉集の長歌に初めて感動した。心動かされる対象が増えたことはとても喜ばしいこと。  
【法・女】
- 他の学生の考えを聞いて、新しい考え方を得た。【法・女】
- 視野の拡大、意識の変換を重視していた【医・女】
- 理系、文系を超えた理解が促進された【医・女】

#### ■自然群科目

- 学期終了後に達成感を感じた。【総・男】
- 授業中に演習の時間がもうけてあったから。【総・男】
- 先生の雑談を聞き、京大総人に来た利点・理由を再認識できた。【総・男】
- 先生がおもしろかった【総・女】
- 教員が個性的だった【理・男】
- 挑戦しがいのある演習問題を提供してくれた【理・男】
- 教え方が丁寧だった。【理・男】
- ※※先生の授業は前期、後期ともとてもよく考えられていて最高の授業でした。他の授業もぜひこうであってほしいです【医・男】
- リレー授業だったので様々な見方の教員がいた【医・女】
- 実験が楽しみで、実際楽しめたから。【工・男】
- 全講義の中で唯一楽しいと感じられた【工・男】
- 成績認定は厳しいものがあつたが、板書を主としたわかりやすい講義内容で大学の物理学のたのしみがよくわかった。【工・男】
- 自分で考え対処するよい経験になった【工・男】
- 演習プリントがよかった 教科書がわかりやすかった【工・男】
- 生徒の興味に内容を変更してくれた上、授業のやり方もうまく、大学らしいといえる授業だった、日本の講師も見習うべきである【農・男】
- 先生は日本語が正くてわかりやすかった。【農・男】

### ■外国語科目

- イタリア文化にも触れられて大変自分の興味をそそった。【総・男】
- Les travaux pratiques, c' est tr&egrave;s instructif. 【文・男】
- 学問の場に相応しい緊張感と礼節を重んじ、厳しくも詳しい講義に京大らしさを感じた【文・男】
- 学生の相談に丁寧に答えてくれる。【法・女】
- 親身に指導していただいた。【経・男】
- わかりやすかった【工・男】

### ■現社群科目

- 学生との対話を大変重要視してくださり、教員と学生が共に学ぶ、温かい雰囲気であったから。【教・女】
- 短期間で終わるので集中しやすい【農・男】

### ■拡大群科目

- 普段話す機会のない方の話を聞いた。【法・女】
- 授業時間外にもさまざまな実験を主体的に進行させていただけた。【理・男】
- 発表などこれから大学で学ぶ上で必要なスキルが身についた【薬・女】
- 興味のある分野の研究者の生の声や最新の研究の事を聞いた【農・男】
- 京大を通して連絡していただいたことで、非公開の庭園の内部を見学させてもらった【農・男】
- 京都ならではの授業を受けられた【農・男】
- 授業や学習の進め方に強いこだわりを感じた【農・男】

### 3. 2 「不満だった科目」とその理由

問3 あなたが1回生のときに履修した全学共通科目についてお尋ねします。

#### B (不満だった科目)

あなたが特に不満だった科目をいくつか思い浮かべてください（もし不満だった科目がなければ問4に進んでください）。

下記の表に、それらの科目名（3つまで）をご記入ください。登録群は、人社、自然、外国語、現社、拡大のうちの1つを選択してください。また、それぞれの科目について不満だった理由として、あてはまるすべてのものに□チェックをつけ、最も重要なもの一つを選択してください。

#### 科目1

科目名：(自由記述)

登録群：(人社、自然、外国語、現社、拡大から選択)

あてはまる理由すべてにチェックをつけてください

- 1 授業の内容に興味を持てなかった
- 2 学生の予備知識や理解度を考慮してくれなかった
- 3 授業の進め方に工夫がみられなかった
- 4 担当教員が不熱心だった
- 5 成績評価の方法や結果に納得できなかった
- 6 教室環境（広さ・設備など）に問題があった
- 7 その他（自由記述）

上記のうち、最も重要なものを選んでください（1～7から選択）

(以下、科目2、3も同様)

#### 3. 2. 1 科目群別の集計

「不満だった科目」を、登録群（人社・自然・外国語・現社・拡大から選択）の構成比によって集計すると、**図 3-2-1** のようになった。「不満だった科目」は全体で 978 件であり、「満足した科目」の 830 件に比べ、多くなっている。全体では「人社」科目の不満がもっとも多く、次いで多かったのは「自然」科目であった。「不満だった理由」（**図 3-2-2a** を参照）は、「成績評価の方法や結果に納得できなかった」、「授業の進め方に工夫がみられなかった」、「学生の予備知識や理解度を考慮してくれなかった」の順に多くなっていた。回答件数は理系のほうが文系よりも多かったが、この傾向にあまり文理の差は見られなかった（**図 3-2-2b** を参照）。

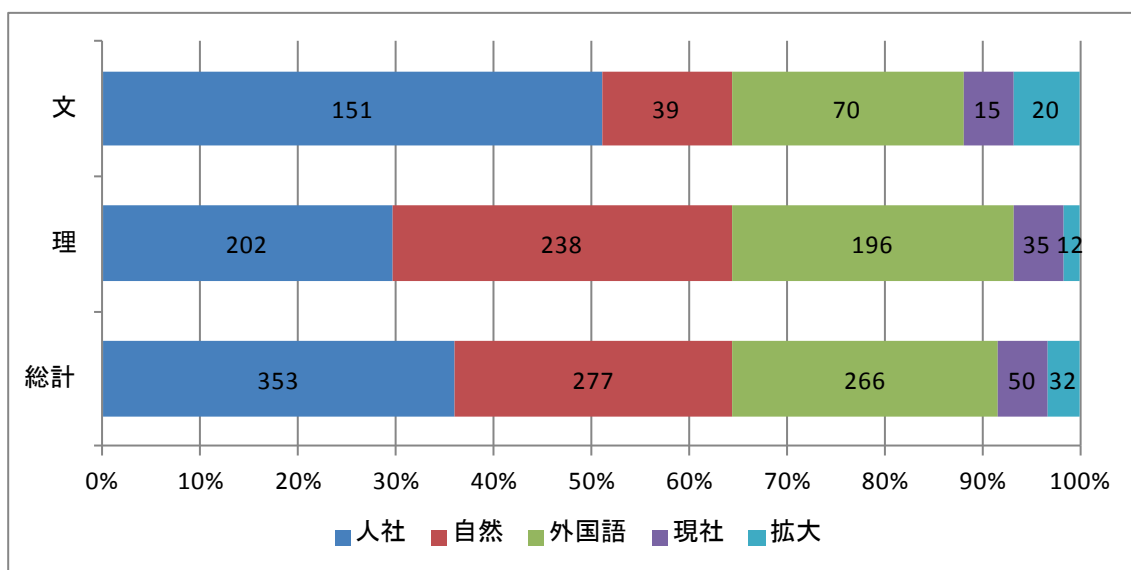


図 3-2-1 「不満だった科目」科目群別科目数（構成比）

### 3. 2. 2 「不満だった理由」の分析

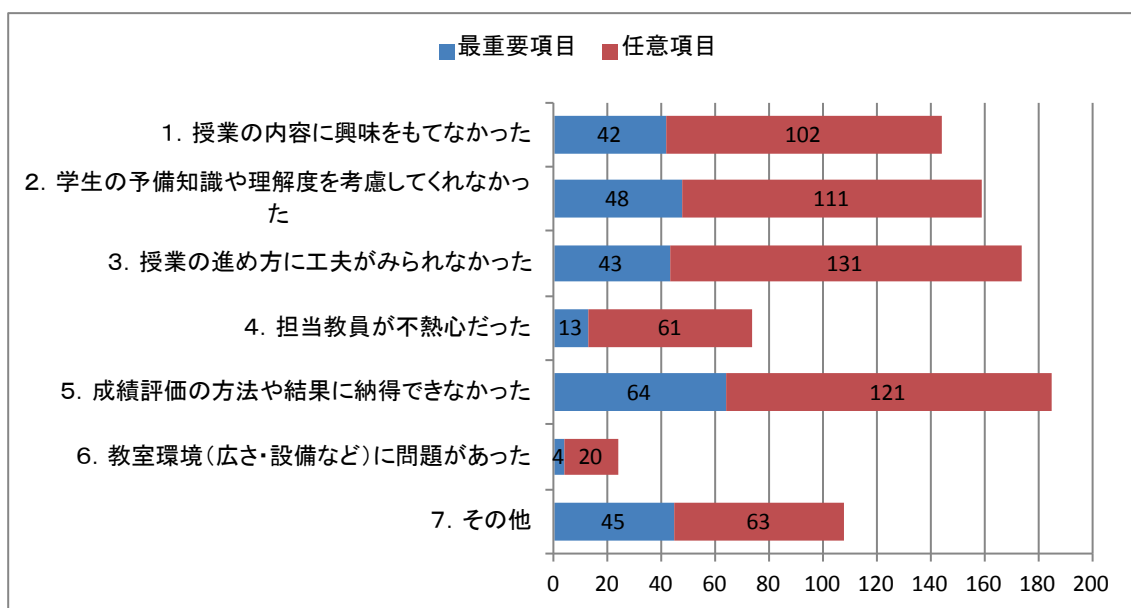


図 3-2-2a 「不満だった理由」項目別集計（全体）

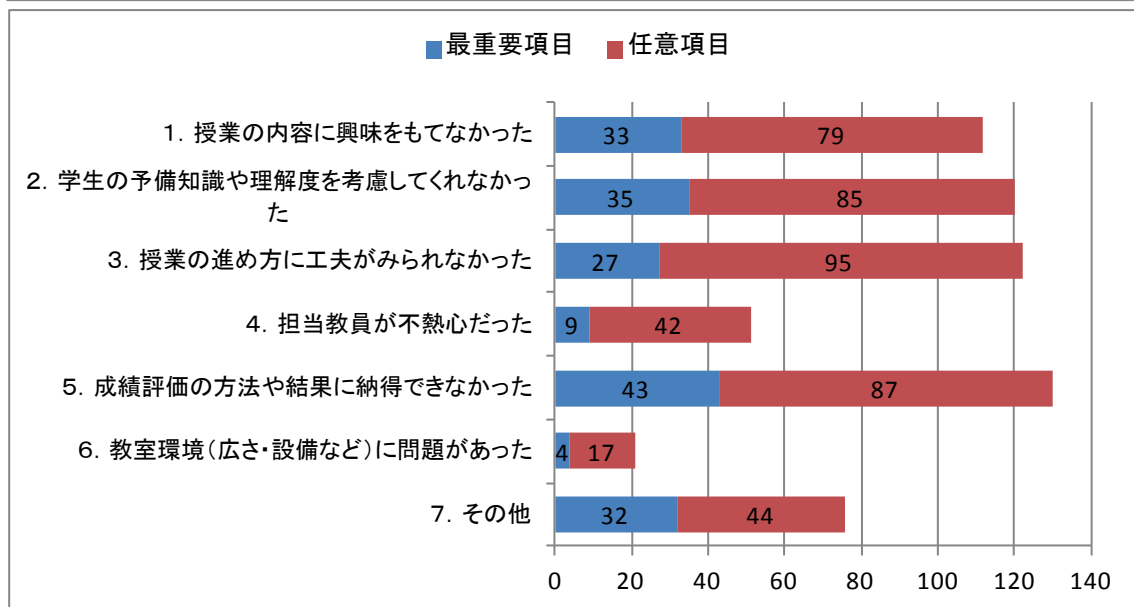
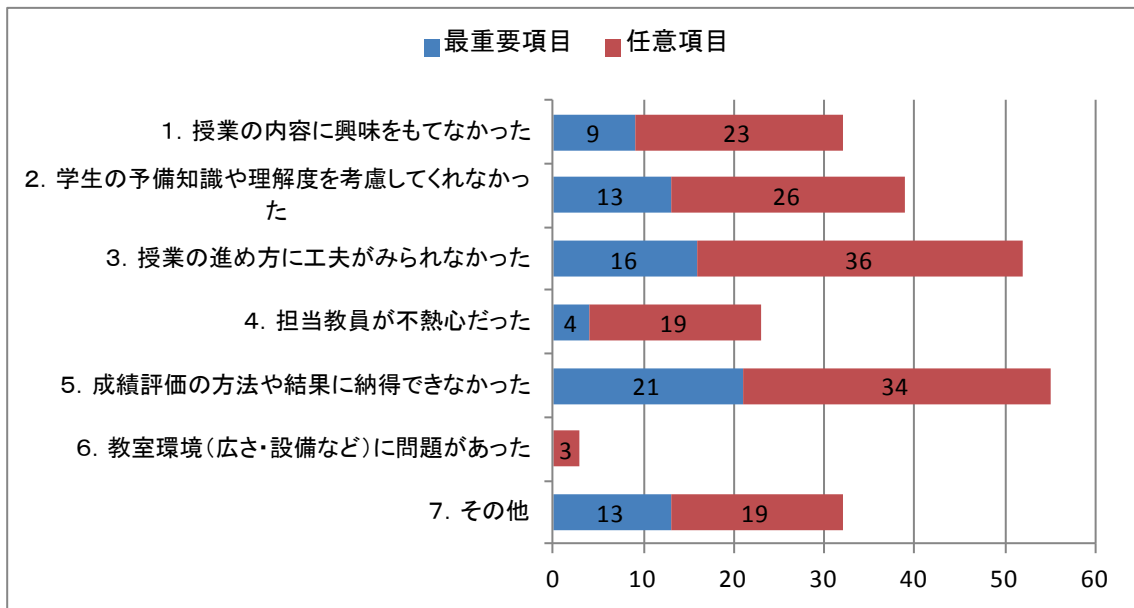


図 3-2-2b 「不満だった理由」項目別集計(上:文系 下:理系)

### 3. 2. 3 「不満だった理由：その他」の記述内容

「不満だった理由」の「7 その他」についても、その内容を自由記述方式で尋ねている。

以下、人社群、自然群、外国語群、現社群、拡大群の別に、全記述内容を掲載する。

末尾の【 】内に学部名・性別を記載した。なお、修正を加えず、誤字・脱字もそのまま記載している。

#### ■人社群科目

- 出席を強制するかの成績評価方法に不満【総・男】
- 板書が見にくい【文・男】
- ※※に対する筋の通らない批判を垂れ流すばかりで講義になっていなかった。【文・男】
- 教員がすぐ不機嫌になる【文・男】
- 同教員による同一内容の講義が木3にもあったが、成績評価の試験問題が大きく異なり難易度に明らかな差があった。それにもかかわらず、成績開示を見る限りではこの点を考慮した評価がなされているとは思えない結果であった。【法・男】
- 声が聞こえない【法・男】
- リレー講義であったが、とある職員が遅刻した生徒に対して叱咤し、空気が悪くなった。遅刻自体はよくないが、無視して欲しい。【法・男】
- 「私の説に沿ったレポートを書くように」という、学生を意気消沈させる一言。【法・男】
- 授業進度が早すぎて理解に苦しんだ。【法・男】
- 事前告知なしに、補講日に試験【法・男】
- 最大3回までの実験参加で点数を与えようと言っていたのに一度目の実験以来参加依頼の連絡が来なかったのはおかしい【理・男】
- 教科書が高い【医・男】
- 教授の学歴コンプを感じた。異議申し立てに対する返信が、おそらくほとんどの人に対してコピーアンドペーストで、なんだなと思った。【医・女】
- 教科書をテスト時以外での使用が見られない授業展開でありその教科書の価格が高く単位を金で買ったような印象を受けた。【農・男】
- 担当教員の性格が香ばしかった【農・男】
- 先生が一方向的に話をするだけ。学生とのやりとりはなかった。【農・男】
- 担当教員とのウマが合わなかった【農・男】
- 担当教員の話し方のせいで声が全く聞こえない【農・女】

#### ■自然群科目

- あまりにも授業がつまらなかった。【総・男】
- 必要十分条件を求めさせるような問い方の問題で、フィードバックでは十分条件しか与えられなかった。そのことを試験後に質問したが、うやむやにされてしまった。【理・男】
- 担当教員の板書が雑だった。【理・男】
- 板書内容に（根本的な）誤りが散見された。【理・男】
- シラバスに明記していたレポート評価が反映されていないように感じた【医・女】
- ※※は教える内容、教科書の予習すらしてきてなかった。教員失格だと思います。単位落とした僕が言うのもなんですが、途中から早起きして行っても無駄だなと思いました【工・男】
- 教授の滑舌が悪く言葉が聞き取れなかった【工・男】
- 滑舌が悪かった【工・男】



- 講義内容が他の講義と相当重複していた。(〇〇A・Bや、△△A・Bなど)【工・男】
- 自分の実力不足。ただ、もう少し平常点を考慮して欲しかった。【工・男】
- 声が聞き取れないほど不明瞭であり、板書も黒板が4面あるにもかかわらず2面しか用いず、非常にわかりづらかった。【工・男】
- レポート作成にかかる時間に対して学べることがみあたらなかった【農・男】
- 先生の日本語が理解できません。【農・男】

## ■外国語群科目

- すべてがテキストに感じた。【総・男】
- テキストで扱った内容と試験内容の難易度が適切でなかった。【総・男】
- 直接授業を受けている先生に成績を1点もつける権利がないのは納得いかない【総・男】
- 講義中に性的話題を中心とする教員個人の人格を疑いたくなるような不適切な言動が多くみられ、出席意欲が損なわれた。【文・男】
- 10秒で終わる説明を30分続ける進度の遅さに閉口した。【文・男】
- 精神的苦痛を感じるほどの難しさ・厳しさだった。【文・女】
- 柔軟性に欠ける、授業内容が前期でほぼ学習済みであった。【教・男】
- 教師に嫌味を言われ、精神的苦痛を被った。〇〇語が、外国人が、嫌いになった。【法・男】
- 他言語に比べて進度が明らかに早すぎる。難易度も他言語に比べて極端に難しすぎる。※※の独裁的な成績管理やシステム運営に無理があった。特にインフルエンザにも関わらず追試験を実施してもらえなかったのは理不尽すぎると思う。【法・男】
- 授業の大半を日本語による世間話で済ませており、英語力の向上に一切つながっていない。【法・女】
- 先生が何を言っているのか理解できない【理・男】
- 授業延長が多い【医・男】
- 成績評価が〇〇語だけ厳しかった。担当の先生ではないため、平常点が認められず、頑張った人よりも、ずる賢くした方が単位をもらっていた。【医・女】
- オンライン課題に不備がかなり多くて学習意欲が失せた。【工・男】
- 単位認定の条件も厳しすぎるものがあるし、なにより基本的に授業が成立していない。【工・男】
- まじめにやったのに実力が落ちた【工・男】
- 前期と後期で課題システムの変更があり慣れるまでとても手間取った【工・男】
- 課題の量が多すぎる 難しすぎる【工・男】
- 東大は東大はうるさい【工・男】
- 何も知らずに〇〇語を選択した生徒にとっては、厳しすぎる授業であり、多言語を選択した生徒との難易度の格差が限りなく大きく、〇〇語と、それ以外の言語の間に明らかな不平等が存在する。【工・男】
- 教科書が鬼畜【工・男】
- 語学の初心者にテキストがあっというないいうえ、どれが重要な単語か不明【農・男】
- ウェブ課題とかいう糞システムの導入、オンラインテストの実施等不満しか残らない成績評価の仕方でした。普段の授業担当員に満足してる分成績評価の仕方には不満しか覚えられない。【農・男】
- 〇〇語と英語し喋れない教師だとコミュニケーションが困難。【農・女】

#### ■現社群科目

- 授業の内容の説明に納得がいかなかった。【理・男】
- The handout was difficult. 【工・男】
- 5限に授業に出て聴こうと思える内容ではなかった ○○の学生に○○の自慢宣伝する意味がわからん【工・男】

#### ■拡大群科目

- 休講などの連絡がなされなかった。【法・女】
- 雨が降ると運動ができない。【理・男】

## 4 全学共通科目への期待

問4 あなたは入学当初、京都大学の全学共通科目に対して、次の各項目をそれぞれの程度期待していましたか。

	どちらかといえば		どちらかといえば	
	期待していた	期待していた	期待していなかった	期待していなかった
A. 専門以外の幅広い知識・教養	1	2	3	4
B. 専門での勉強の基礎	1	2	3	4
C. 実用的な知識・技能	1	2	3	4
D. 教員との交流	1	2	3	4
E. 学生同士の交流	1	2	3	4
F. 自分の研究分野の決定の手掛かり	1	2	3	4
G. 自分の研究内容へのヒントや刺激	1	2	3	4

### 4. 1 全学共通科目に期待する内容

全体（図 4-1-1 を参照）で、「期待していた」と「どちらかといえば期待していた」を合わせた数字を見ると、もっとも多かったのは、「専門以外での幅広い知識・教養」であり、次いで多かったのは「専門での勉強の基礎」であった。「教員との交流」はもっとも少なかった。理系では、「専門以外での幅広い知識・教養」「専門での勉強の基礎」が同程度の高い期待を示していた（図 4-1-2 を参照）。

「期待していた」を4点、「期待していなかった」を1点に逆転させて平均点を算出し、2005-2015年の経年変化（全体）を見ると（図 4-1-3 を参照）、全体では「専門での勉強の基礎」「教員との交流」を除く全ての項目が前年度よりも得点を落としている。この傾向は、文系と理系どちらにおいてもみられる（図 4-1-4 を参照）。

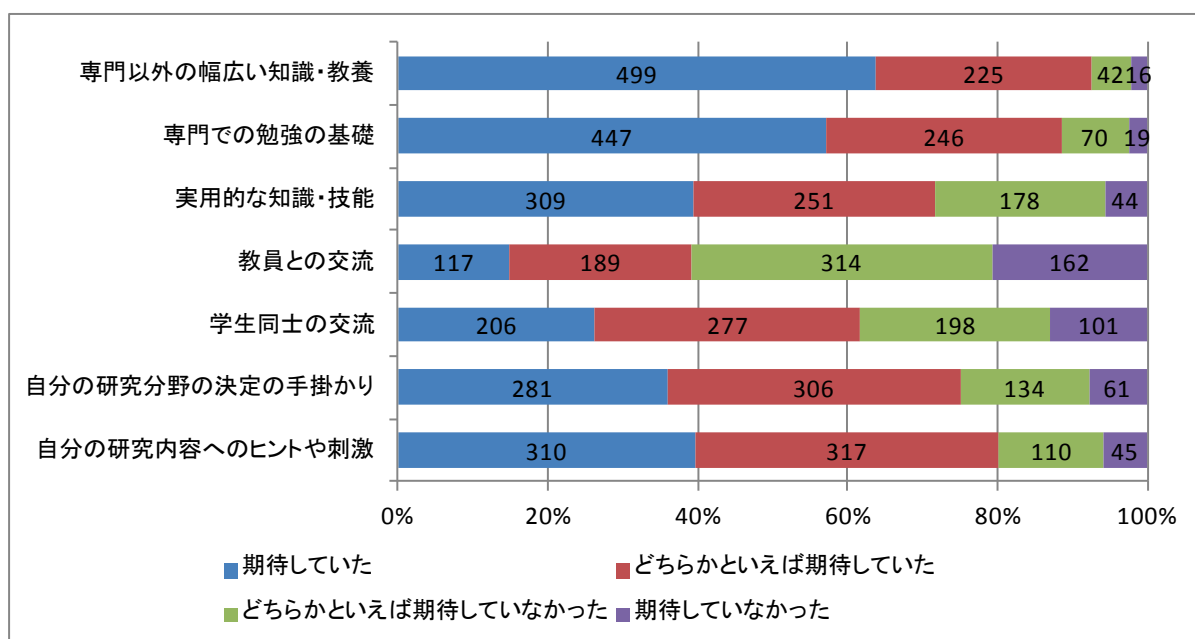


図 4-1-1 全学共通科目に期待する内容（2015年）（全体）

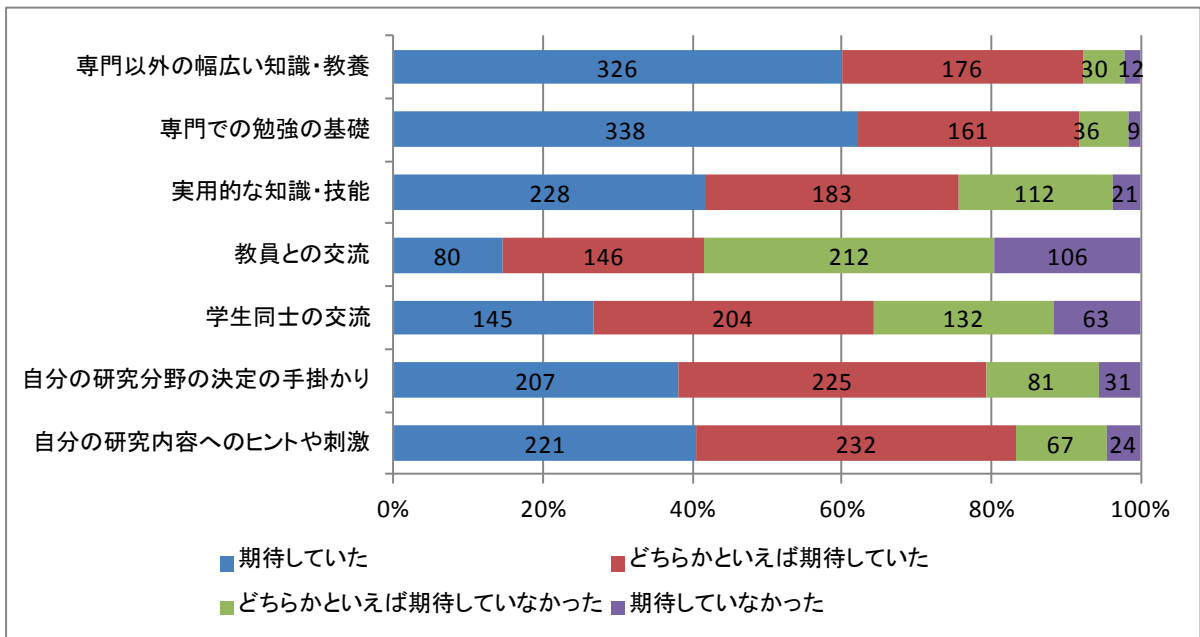
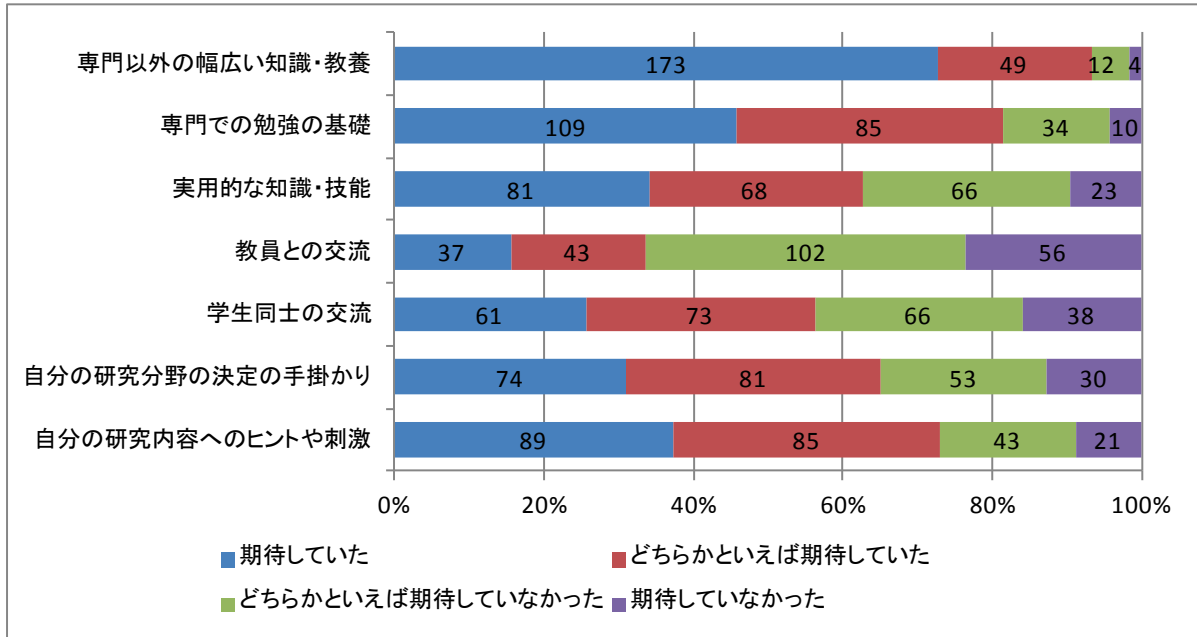


図 4-1-2 全学共通科目に期待する内容 (2015 年) (上: 文系 下: 理系)

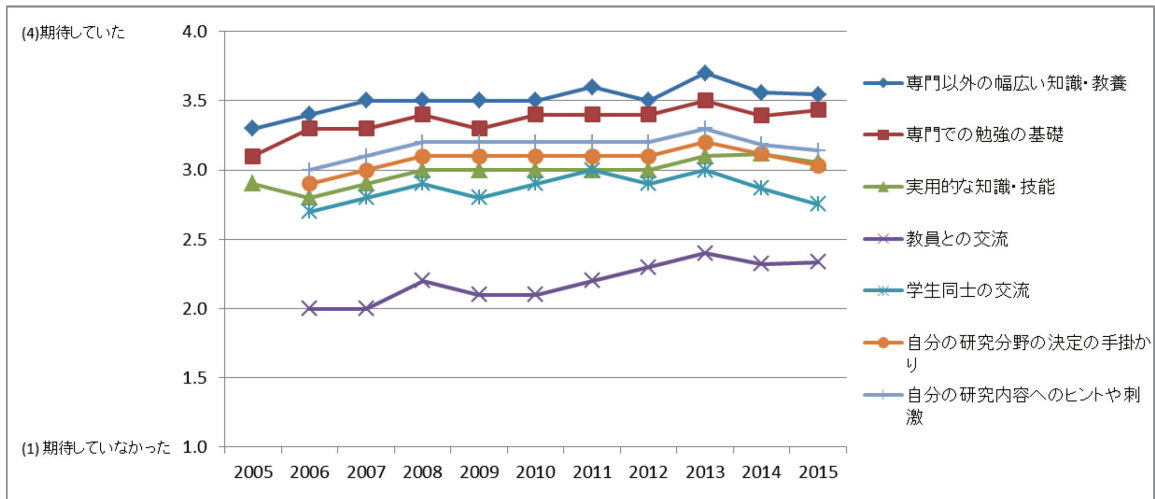


図 4-1-3 全学共通科目に期待する内容 (2005-2015 年) (全体)

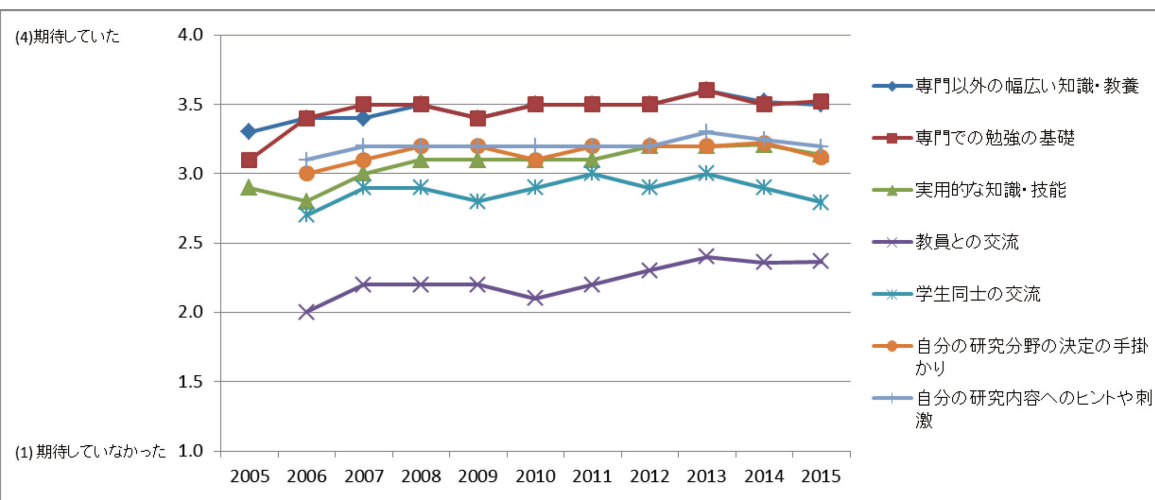
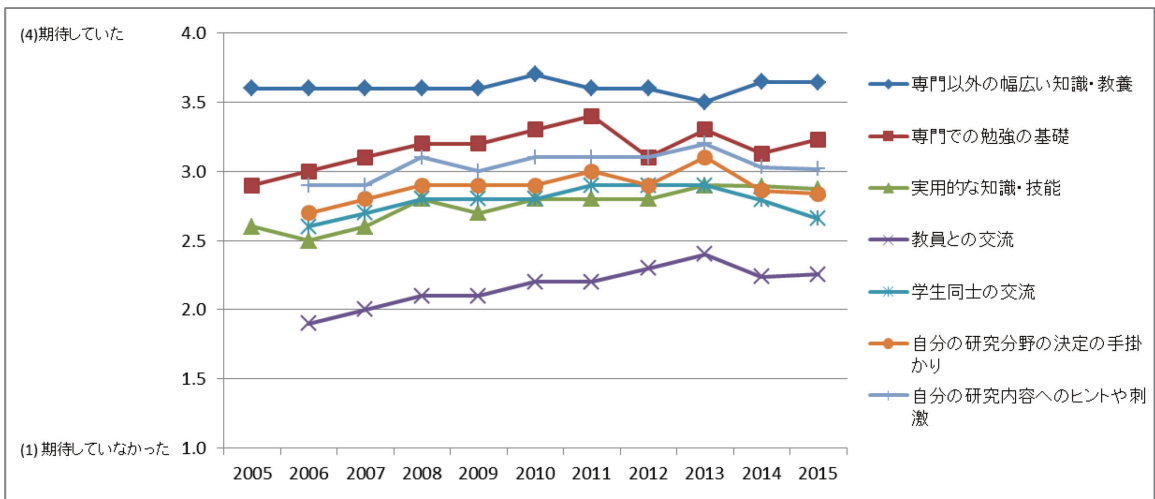


図 4-1-4 全学共通科目に期待する内容 (2005-2015 年) (上：文系 下：理系)

## 5 期待は実現されたか

問5 全体として、あなたが全学共通科目に対して抱いていた期待は実現されましたか。

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 1 実現された            | 2 どちらかといえば実現された |
| 3 どちらかといえば実現されなかった | 4 実現されなかった      |

### 5.1 全学共通科目への期待は実現されたか

全体（図 5-1-1 を参照）を見ると、「実現された」と「どちらかといえば実現された」を合わせて 61%の者が、全学共通科目に対して抱いていた期待が実現されたと回答している。文系・理系の差はほとんど見られない（図 5-1-2 を参照）。「実現された」を 4 点、「実現されなかった」を 1 点に逆転させて平均点を算出し、2005-2015 年の経年変化（全体）を見ると（図 5-1-3 を参照）、2014 年に比べ期待の実現の程度が若干下降している。

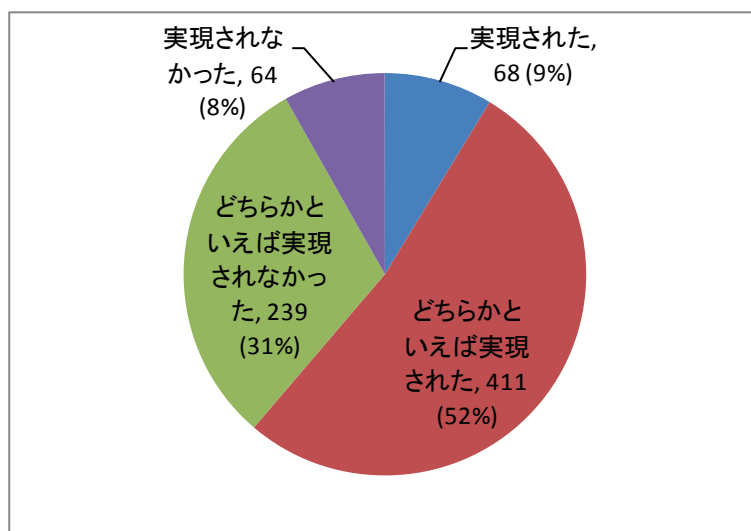


図 5-1-1 全学共通科目への期待は実現されたか（2015 年）（全体）

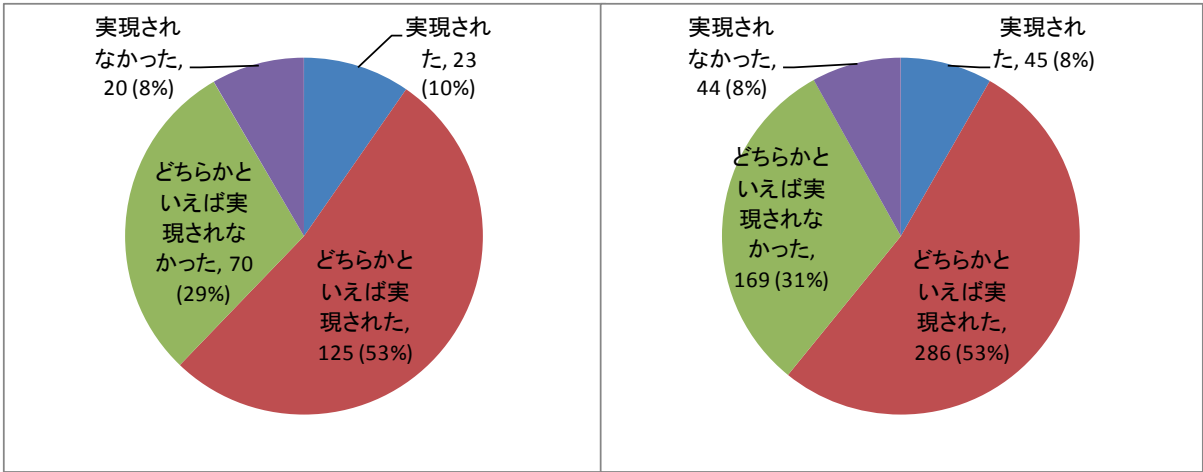


図 5-1-2 全学共通科目への期待は実現されたか (2015年) (左: 文系 右: 理系)

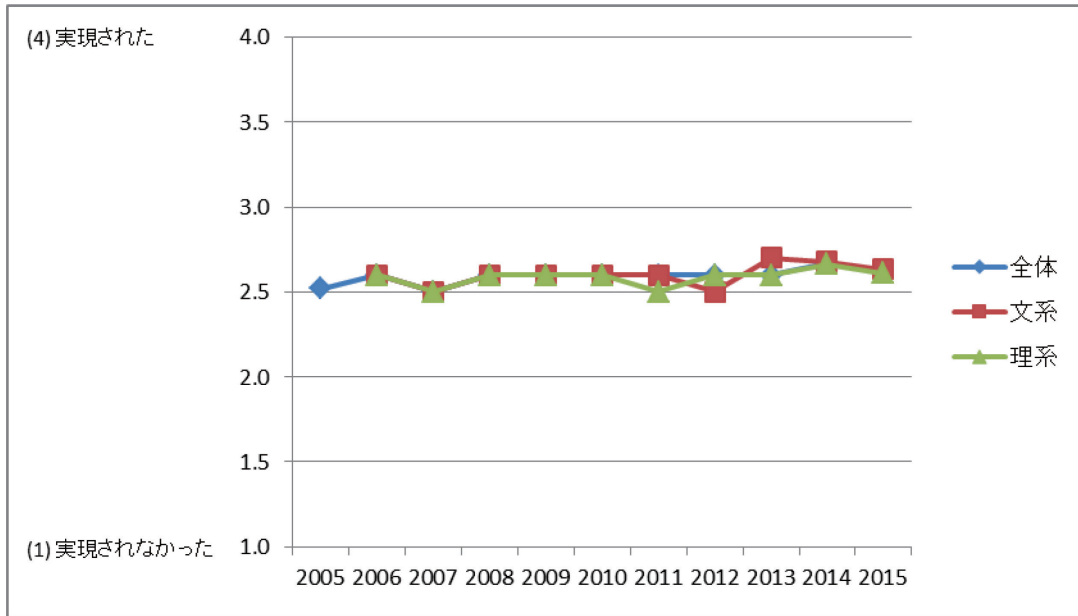


図 5-1-3 全学共通科目への期待は実現されたか (2005-2015年)

## 6 今後の全学共通科目への要望

問6 今後の全学共通科目に対して、どのような改善を要望しますか。あてはまるすべてのものすべてに□チェックをつけ、最も重要なもの1つを選択してください。

- 1 特に要望はない
- 2 学生の関心により対応した内容の授業をしてほしい
- 3 学生の予備知識や理解度をもっと考慮してほしい
- 4 授業の進め方をもっと工夫してほしい
- 5 授業にもっと熱意をもってほしい
- 6 学生とのコミュニケーションをもっととってほしい
- 7 成績評価の基準・方法をもっと明確にしてほしい
- 8 教室環境（設備・広さなど）を改善してほしい
- 9 その他（自由記述）

上記のうち、最も重要なものを選んでください（1～9から選択）

### 6. 1 項目別集計

全体（図 6-1-1 を参照）を見ると、「要望なし」がもっとも多く、次いで多かったのは「学生の関心により対応した内容の授業」「学生の予備知識や理解度を考慮」であった。文系・理系どちらにおいてもこの傾向が見られた（図 6-1-2 を参照）。

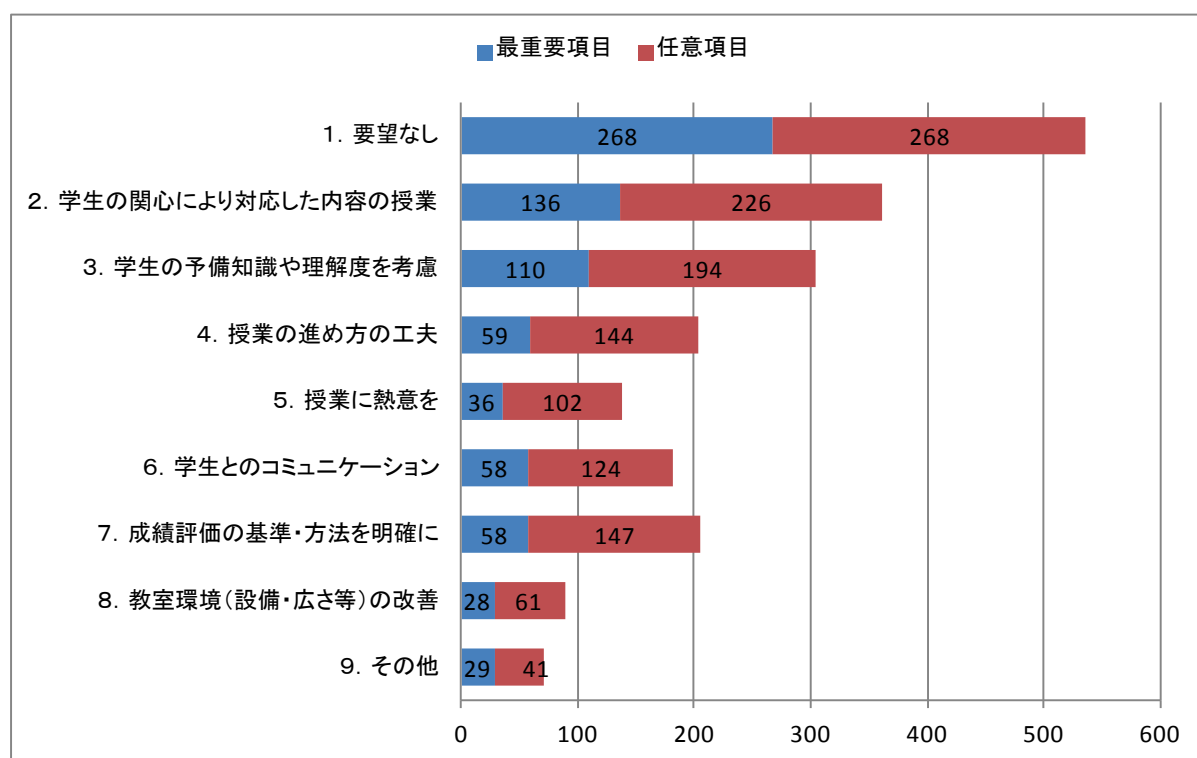


図 6-1-1 今後の全学共通科目に対する改善の要望（全体）



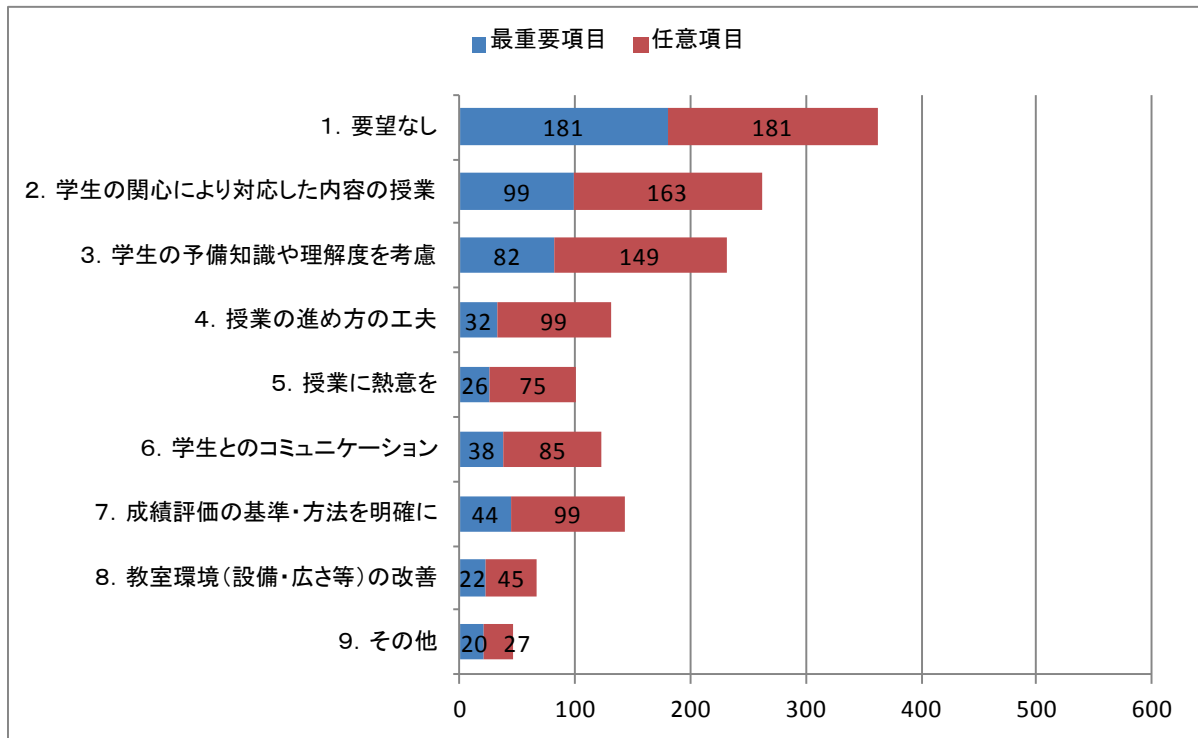
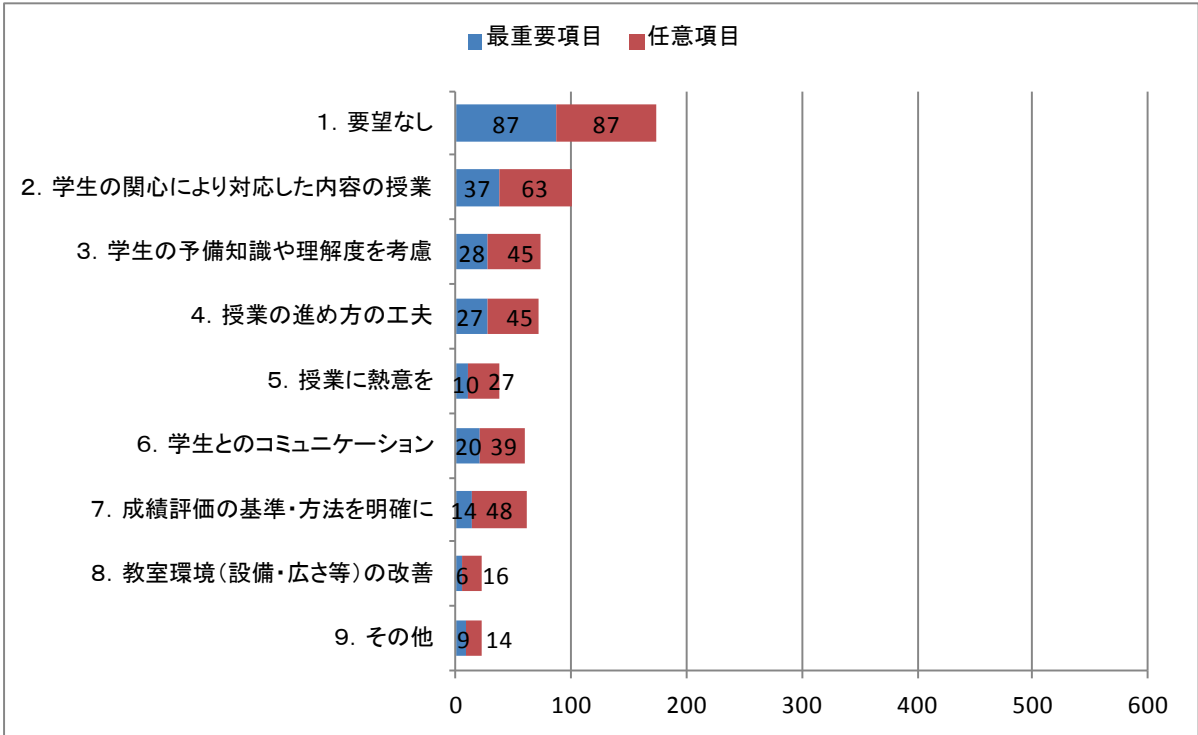


図 6-1-2 今後の全学共通科目に対する改善の要望（上：文系 下：理系）

## 6. 2 「改善の要望：その他」の記述内容

末尾の【 】内に学部名・性別を記載した。なお、修正を加えず、誤字・脱字もそのまま記載している。

- 学生間でのコミュニケーションを促進させるようなきっかけが欲しい。【総・男】
- 生徒に興味を持ってもらおうと過度に気を遣わないで欲しいです【文・男】
- 履修制限方法の改善（現状では枠だけ潰して出席しない不届き者がおり、熱意ある学生が履修しにくいという理不尽さがある）【文・男】
- 学生の意見を参考に教員の人格面での評価とそれに基づく適切な処置がとられることを望む。【文・男】
- 本アンケートのような学生目線ではなく、教員のしたいようにして欲しい。【文・男】
- 履修制限に伴う抽選の際には、KULASIS で抽選する科目でも、初回出席者を優先してほしい。【文・男】
- 履修制限を見直してほしい。厳しすぎる【文・男】
- より幅広い知識、教養を身につけられるような授業をしてほしい【文・女】
- 楽単にしないでほしい【文・女】
- 少人数の科目がもっとあっても良いと思う。【教・男】
- 板書の文字がとても見やすいとは言えないような書き方の教員も多かった。【教・女】
- 単位が取りやすい科目に生徒が集中し抽選で落選することがあるが、本当に興味がある場合、非常に悔しい思いをする。授業に潜り込むことは実際可能であるが、せっかくであれば興味のある科目で単位をとりたいと思うので、少々理不尽さを見出す。【法・女】
- 出席状況のみで成績が決まる科目以外の履修制限の撤廃、人社群で2回生配当にする理由が不明瞭な科目が多い【経・男】
- 特に外国語のシラバスが似たり寄ったりで読んでも授業のレベルが分かりにくい。【経・男】
- 抽選ではなく、遠隔地から講義を受けられるようにする等の方法で全員が受けられるようにしてほしい。【経・男】
- リレー形式を増やしてほしい。【理・男】
- 教養を教える先生が偏ってる【理・男】
- 専門分野に関係のない教養科目や外国語の授業はないほうがいい。【理・男】
- 単位ください【理・男】
- シラバスの試験評価と実際の乖離はやめてほしい【理・男】
- 広東語の講座を開いてほしい。また理学部で語学の単位をもう少し(一般教養などとして)卒業単位として認めてほしい。【理・男】
- 定員を多くしてほしい抽選でとりたい科目落ちるのに、単に楽だからという理由で申し込んだ人が当選しているのを見るといかななものかとおもう。【理・男】
- 履修する人が多いと見込まれるものに対しては大きい教室に変更するなどの対処はしていただきたいです。【理・男】
- 取りたい授業があるのに抽選で取れないのは、残念。人気なものは、授業数を増やすなどしてほしい。また抽選に受かる数が人によってバラツキがありすぎる。【医・女】
- 第二外国語同士の成績評価基準・試験難易度があまりにも異なり、不公平感があったので是正して欲しい。【工・男】
- 第二外国語の間の不平等をすぐさま改善すべき。【工・男】
- もっと早く授業計画出したいお【工・男】

- 講義のレベルを上げてほしい。高校内容のおさらいのような授業は退屈を感じる。【工・男】
- 語学の単位認定難易度が担当講師によってバラバラなので可能な限り統一してほしい【工・男】
- 受け身でない、自ら学べるような授業にして欲しい。授業に出ても単に座って自習した方が身になる授業など出ても意味ない。【工・男】
- より学生が自身の関心に基づいた授業選択のできるシステムにしてほしい【工・男】
- 学ぶ意欲のある学生が人数制限のための抽選により履修できない状況を改善してほしい【工・男】
- 授業をあとから映像などでみかえせるようにしてほしい【工・男】
- 受講したくても抽選によって受講できないことが多々あり、改善して欲しいです。【工・男】
- 興味のある内容の科目を単位認定してほしい【工・男】
- 本筋をはっきりしてほしい【工・男】
- 工学部の自然群の選択の幅をもっと広げてほしい【工・女】
- 出席をなくしてほしい【農・男】
- 理系の生徒に文系内容を単位として強いるのが理解しがたい、かつ、教員の教えるうまさにばらつきがあり、魅力のある教科でも学生の意欲を失わせる授業をしている。教員の指導法の向上を目指さないのはいかながなものである【農・男】
- 教科書を指定しているにも関わらず、まったくその教材を使用しない授業があるので、最初の講義で教材の購入をするべきか明確に言及してほしい。【農・男】
- なるべく専門科目等と曜時限が重複しないようにして頂けると大変喜びます【農・男】

## 7 自由記述

問7 あなたは、1年間全学共通科目を受講して、どんなことを感じ、どんなことを考えましたか。自由にお書きください（たとえば、勉強における悩みや不満、その解決策、あるいは楽しさ・感動など、何でも結構です）。

学部別に、記述内容を掲載する。◎は男子学生、○は女子学生の回答である。  
なお、修正を加えず、誤字・脱字もそのまま記載している。

### 7.1 総合人間学部

- ◎自分の興味の持てない分野でも、幅広く履修し、教授、教員の考えに従い学ぶことで、独自の理論の構築に役立つだけでなく、自己の幸福追求の手がかりになり、感性を育てることができると思った。こうした独自の理解と全学共通科目に向かう気持ちを持ち始めた後期、より多くの科目を履修したことで、感性が磨かれ、世の中を広い視点で見、考察できるようになったと思っている。これぞ大学で習得すべきことなのではないか。私は総合人間学部所属で、今後も全学共通科目を引き続き履修することになると思うが、大いに期待している。
- ◎大学生の勉強ができて嬉しいと感じた。
- ◎これまでの受験勉強のような勉強だけが勉強なわけではないと思った。答えがあるものではなく答えのないものを研究対象にしなければならないと思った。
- ◎ただ漫然と講義を受けるだけでは、教養を「身につける」ことは難しい。それには学生ひとりひとりが主体的な意志を持って（特に課外の時間に）学びとることが必要であり、必ずしも大学がその機会を保証してくれるわけではない。
- ◎新しい事を学べはしたけれど、週1ということではなかなか興味関心を持続させることができなかった。
- もっと参考書を紹介してほしいかった。もっと興味を持てるような授業にしてほしいかった。
- 自分の興味にそって様々な分野の講義を受けることができたのしかった。

### 7.2 文学部

- ◎一般教養の自然科学郡において、今年開講される「※※」のような、最先端の研究を行う様々な補分野の理系の人々の講義を聞いてみたかった。情報工学とか電気電子という学科が一体どんな研究で実社会に携わっているのか、とかそういうことを私は余りにも知らないように感じる。
- ◎履修登録に際して、膨大な情報を処理する能力、また勉強に対しては自主性が問われると思いました。
- ◎文系でも履修可能な理科系や初等数学の科目を増やして欲しいと思います。
- ◎単位より講義内容の理解、習得が重要だと感じた。
- ◎教養とは何か、教養を身につける意義とは何かといった、そもそも論について自分なりに考えるきっかけになったと思う。
- ◎自分が大学で何を学びたいのか、といった、学習の上での自分の目標が非常に漠然としていることを改めて痛感した。その一方で、様々な分野の授業をとることで、自分が興味を持つこと・追究したいことについてヒントを得られることができたように思う。

- ◎学習分野の多彩さ。
- ◎あんまり面白い授業がなかったです。
- ◎勉強の楽しさなんてなくなった。将来の就職に向けた実学のみを頑張ろうという気持ちしか現在はない。文学部の一回生になぜ学部科目がないのかはずっと疑問です。
- ◎熱心に勉強しなくても単位を取得することができたので、かえってやる気がそがれた。
- ◎大学の講義では普通のことなのかもしれないのですが、先生が学生に語るだけの一方通行な授業が多いなあと思いました。話を聴いているだけでは眠くなってしまうので、我々学生のほうからも能動的に授業に参加できる環境、雰囲気があったらいいなと思いました。
- ◎いろいろな学問や研究があるなと思いました。
- ◎フィードバック期間がほとんど名ばかりのような印象を受けたので、試験の答案を返却して解説する授業を増やしてほしいと思う。
- ◎自分が専門にする分野以外でも沢山の事を勉強するのは物凄く大事なことである。
- ◎学部のつながりがもっとほしい。
- ◎いまいちモチベーションが上がらないが多い。大学の授業の雰囲気が分かると徐々にやる気が出てきたように思える。
- ◎色々知識が身につけ楽しかった。
- ◎教員免許の単位にいれることのできる全学共通科目の存在を知る前に履修登録の締め切りが来てしまったり、受けたかった授業が後から取れなかったりして、満足に授業を受けられず、モチベーションがあがらなかった。
- ◎教授の研究に即した内容なのは仕方ないのかもしれないが、専門性があまりにも高いものもあり、シラバスの文面と実際の講義内容に差があり、関心が若干薄れた科目もあった。
- ◎全く知らなかったようなことも知ることができて面白いと考えた。
- 学校に通い続ける気力を保つのに苦労した。
- 例えば日本の教育システムなど、興味のある授業が英語講義でしか開講されていないことが多い。そうすると、ほんとうに学びたいと思っている人が英語講義であるがために履修を諦めてしまいがちな気がしました。
- 分野が幅広くてよかった。
- ・興味のある授業が同じ曜時に集中しているので、履修科目決定の時に悩んだ。もう少し授業を分散させてほしい。
  - ・外国語Ⅰの曜時限・担当教員がクラス毎に指定されていることに不満を感じた。外国語Ⅱのように抽選にしてほしい（どの授業でもかまわない生徒は「任意」とすればよい）。
  - スポーツ実習についても同様である。
- 高校では学ぶことのできなかつたような知識を身に付けることが出来た。自分が興味のある分野について深めることが出来た。ただ、一部の授業では、他の学生の受講態度が良くなかつた。
- 全学共通科目で学んだ様々な分野の知識が、様々な場面につながっていく面白さを感じた。また、自分の中の既存の概念がパラダイムシフトされる体験から、学問の面白さを感じることができた。
- 特定の分野を専門的に学べるのは数少ない機会であり、楽しめた。
- 文系向の理系科目を多く受講し、総合大学としての京大の面白さを感じました。
- 幅広く学べるのがよかった。おもしろそうなやつほど楽に単位が取れるから、ちゃらちゃらした人が多くて嫌だった。
- 単位をいかに効率よくとるかが大切。

### 7. 3 教育学部

- ◎結局将来が不安。
- ◎※※の試験や課題がオンラインでなされるようになったが、不備が多く、余計なところでストレスを感じた。
- ◎様々なことが学べて楽しかった。
- ◎勉強の時間を作れなかった。
- ◎大学では授業に期待したり頼ってはいけなと感じました。本当に学問をしたいのであれば自分で何をやりたいのかを考え、自分で本読み、自分から人と対話をしていく（例えば研究室に訪問する）のがあるべき姿勢であるとは今考えています。それが京大のいう自由の学風であると思うし、必ずしも授業に全て行く必要もない。授業に縛られずに自分のやりたいことを主体性を持ってやっていきたいと思っています。
- 全学共通科目を受講することで、自分の将来について、いくつかの選択肢が生まれた。大学入学当初には、「これを学びたい」という専門分野がひとつに定まっていたが、その限定された視野にとどまることなく、様々な分野に触れることができ、自分の人生にとって大変有意義な時間を過ごすことができた。
- 授業で得た知識から問いを立て、自分で調べ学習するのが楽しいが、授業にディスカッションや教師・学生との交流を取り入れることで自分では思いもよらなかったような問いが見つかると思う。
- 興味を持てる授業が少なかった。

### 7. 4 法学部

- ◎法学部を選んだこともあり、社会科学系統の教養科目は、面白いものが多かった。私は世界史関係の科目もいくつか受講したが、高校の学習内容を踏まえたものであったため、良かった。外国語の科目では、※※の授業では、文法を中心に学んだが、前期・後期いずれにせよ、「文法」のほかに「実習」という講座を履修しなければならなかった。書籍のみの文法学習だけでは言語能力の効果的習得は不可能なのは理解できるが、大学で初めて学ぶ言語であるだけに、文法に関する知識が著しく欠如しており、「実習」とはいえ、内容的には低いものしか得られなかった。そのため、「実習」の時間で何を学んだのかと問われても、返答に苦しみところがある。また、英語においても、テキストの本文を音読して和訳する、という作業が事業の大半を占めていた。クラス指定科目であるから、担当教員を自由に選ぶことはできない以上、会話やリスニングなど音声面を重視される教員も本学にはおられるのかもしれないが、将来における英語の必要性を考えた場合、やや古典的英語学習に固執しすぎていたのではないかと、今一度思われる。この点に関しては、今一度、国際高等教育院が舵をとって、英語教育の改革に踏み切ってもらいたい。※※の改革は、いまだ道半ばであることを、強く自覚されたい。最後に、全学共通科目全般に関して、一点申し上げておきたいことがある。それは、国際高等教育院と授業担当教員との連携が、あまりにも乏しいものである、ということである。履修登録の詳細について、私が質問したある教員は、ほとんど無知であった。はじめて大学の授業システムを知る新生にとって、あまりにも不安を抱かせるといわざるを得ない。また、試験の際も、監督として業務を行う事務職員は、試験担当教員との連携がとれていないため、試験の進行を円滑にできない局面も、散見される始末である。2015年度は、私は外国語においてのみ教養科目を履修する予定であるが、上に述べた内容を、一学生の妄言として看過されることなく、真摯に受け止めて、共通教育の改善に役立てられることを願ってやまない。

- ◎履修制限に妨げられることが多かった。
- ◎専門科目より内容に興味を持てるものが多く、転学部をかなり真剣に検討した。これからも出来る限り全学共通科目を受講して幅広い教養の獲得に努めたいと思う。
- ◎私語をしている学生をもっと取り締まっていただきたい。不愉快で邪魔である。
- ◎専門外の教養を仕入れるという目的にしては、講義内容が専門的かつ難解すぎるようなものがあった。講義を受けるよりレポートのために呼んだ参考文献の方がためになった部分もあった。だがいろいろな分野に実際触れてみることで実際自分にどんな分野が向いているのか、向いていないのか判断するための材料にはなったと思う。
- ◎様々な科目があるなかで自分が興味を持ったものを受講でき、新たな知識、考え方が持て、有意義だと感じた。
- ◎自分の興味関心のある分野を考える上で新鮮な視点を与えてくれた。
- ◎全く勉強してない人や、授業に出ていない人がやすやすと単位をとれるという甘さを改善するべきである。また、楽単目的の人々のせいで、取りたい科目が履修制限にかかってとれなかったので、履修制限をなるべくなくしてほしい。
- ◎具体的な目的意識もなく履修した授業でも、その中に色んな示唆があつたりして、新たな興味や関心を掻き立てられることがあったのが良かった。
- ◎法学部では自然群が8単位までしか認定されない。理系科目が好きな私としては、他群の代替単位として、8単位を超えた分の自然群科目の単位も卒業用の単位として認定してもらえると嬉しい。
- ◎※※の、京大の学風と真っ向から対抗するような教育姿勢に強く抗議します。
- ◎やはり、受講してみなければ その講義の内容や良さは分からないと思いました。その意味で、シラバスの内容は かなり重要であると実感しました。
- ◎幅広い教養が身に付けられてよかったと思う。
- ◎第二外国語の学習が予想以上に大変だった。
- ◎英語のスピーキングをまともにこなせるようになりたいが、2 回生以降の専門科目の忙しさを考えるとそれに費やす時間がない。かと言って、1 回生の間にそれが出来るようになったかという、京大の1 回生向けの講義だけではどうしようもなく、どうしたものかと思い悩んでいる。
- ◎私は一般教養科目で幅広い分野をわかりやすく学ぶことができ、とても満足しています。特に今まであまり触れることのなかった化学、物理等の理系科目二間して、予備知識がない状態でも理解しやすい授業でよかったです。
- ◎自分の関わったことのない分野に手を伸ばせるのでよかった。
- ◎授業にでなくても単位とれるのは本人の今後を考えるとよくない。後、学生と教員が飲みに行くことが少ないからコミュニケーションがほとんど取れない。後、もっと基礎的な思考の枠組みを教えるべき。
- ◎興味深い講義が多く、一年で何度も衝撃を受けました。
- ◎大きな教室で座れない人が存在する授業があり、その人たちが授業中しゃべったりしていたので、そういうことのないようにするべきだと思う。
- ◎興味関心を掻き立てる授業がいくつかあった。
- ◎専門の学習以外の幅広い教養を培うのにとっても役に立った。専門分野のみならず多くの分野について理解することは重要なことだと思うので、良い経験となった。
- ◎様々な分野に関する知識を得ることができ、有意義であったと思う。
- ◎楽しく授業が受けられました。

- ◎遅刻してしまう自分の自制心のなさ。
- ◎大学の講義のあらましが理解できた。
- ◎成績評価が厳しいのでもっと甘くしてほしいかった。
- ◎自分の専門分野以外の分野を学べて良い経験でした。
- 全学共通科目で得られる知識量そのものは微々たるものだが、各学問の存在を知り興味を持つというきっかけを得ることができた。中には、専門分野に関連する考え方が紹介された科目もあり、視野を広げることができた。
- 学生が学部一回生から各自専門分野を学び始める大学が多い中、一定数の一般教養の科目を履修することを卒業条件とするカリキュラムは、幅広い教養を身につける上で良いと感じた。
- 今まで学んだことのないような、新たな分野について、少しでも触れることができよかった。こういう風にして学んだことを、今後どこかで生かせることができれば、なおよいのだろうと思う。
- できることなら主体的に学びたいし、学ぶコミュニティで刺激を受けたかった。しかし、一方で単位をとらなければならない現実があり、それも考慮した履修計画を立てた。結果的に前期は特にやっつけ仕事でレポートを出し、単位を取り切った。何も楽しくなかったし、取れても嬉しくなかった。コマ数が多かったのもあって、授業外で勉強する時間も取れなかった。もちろん、モチベーション不足もあるが。しかし、できればそのモチベーションの維持を一般教に求めたかった。後期は単位にゆとりがあったので、本当に興味のある講義だけを取り、そこそ楽しかった。それでもやはり受けていて退屈な日はあった。でも正直これは仕方ないと思う。
- 学びたい分野の授業に限って抽選に外れたりクラス指定の授業と被り、非常に残念だった。
- 全学共通科目、非常に興味深かったです。特に、ゼミ形式でディベートする授業は、教授と学生の交流が盛んで、とても楽しかったです。法学部には学べないけれど、非常に関心のあった、地理や環境問題について中心的に履修でき、とても充実した一年でした。来年も空いているコマに積極的に参加していきたいと思っています。
- 他の大学に比べ、一般教養科目で受講できる分野が多岐に渡っていたと思うので、自分の興味がある分野の授業を自由に選択できることが素晴らしいと思った。
- 全学共通科目を通して、高校の頃興味を持っていたが、授業では基礎までしか触れられなかったことに触れることが出来た。また、自分の専門ではない理系の知識についても、興味深い事柄を、あまり分かりやすすくないものもあったものの、説明してもらえた。全体として、研究・学問というものに関心が持てた。
- 自ら興味を持って勉強するということが高校の時と比べて難しかったです。

## 7. 5 経済学部

- ◎結局は単位を取るだけが目標になってしまう。何かもっと「面白い」と思わせることが必要なのではないか。
- ◎仕方がないことかもしれないが結局は単位のための勉強にしかならず当初イメージしていたような楽しんで学ぶ姿勢にはなれなかった。
- ◎授業を受けてみないと分からない感がすごいやだったので、シラバスをもっと正直にかつ詳しく書いてほしいです。しっかり授業として身につくほど真剣にできたのは数個でしたが、その分自分で勝手に専門の勉強を進められたし、しっかりできた授業の内容はとてもためになったと思っているので、結果としてはよかったと思っています。
- ◎睡眠の質が悪い。



- ◎楽そうなやつからおもしろそうなやつまでいろいろ選んだけど、興味を持って選んだ科目のほうが結果的にちゃんと勉強ができていた。
- ◎最初は勉強しようと思っていたが、あまり自分のためになる科目というのがなく、とりあえず単位さえ取ればいいという考えになってしまった。第二外国語の勉強のせいで、専門の勉強に時間を費やせなかった。
- ◎社会に出てから自分がどのように仕事をして生きていくのかなど、将来のことについて思いをはせるようになった。
- ◎色々なことを専門の先生方から聞くことができ興味深かったです。
- ◎自分の研究したい内容と授業内容があまり結びつかなかった。
- ◎外部から講師を招へいして行われる授業でさえ閉鎖的だと感じた。実業家や社会人を呼んだ授業の拡大や双方向的コミュニケーションへの改善を行ってほしいし、継続的なボランティア・社会貢献活動や起業などを含む課外活動を学習の一環として認める(単位認定とまでは行かなくとも、大学側の承認)ような体制の構築を行ってほしい。
- ◎成績評価基準や方法はもっと明確すべき授業はいくつかありましたが、全体として大きな不満点はありませんでした。※※の線形代数は特に面白いと思いました。
- ◎一般教養科目は評価方法が様々だなと思いました。
- ◎履修登録における抽選は理解できないわけではないが、本当に履修したい科目で落選したときのやるせなさは大きい。
- ◎質の高さを感じた。
- ◎講座ごとの成績評価の厳しさの違いが大きすぎる。GPA の算出の際には、専門以外のあまり興味のない全学共通科目の分野の授業と専門の授業が同じ扱いになるので、すべての授業できちんと同じ成績基準を設けてほしい。
- ◎拡大群の選択肢が少ないわりに多くの単位を取らなければならないのが不満。
- ◎語学に興味を持てなかった。
- ◎そんなに面白くない。
- ◎自分は経済学部だが、専門以外の理系科目などを履修することで幅広い知識を付けることができ満足している。
- 下準備が辛くとも、興味のあることなら、先生からの一言や理解できたとき、論文などを書き終えたときの達成感のためにいくらでも耐えられる。
- ポケゼミで他学部の友達ができました。

## 7. 6 理学部

- ◎文系の科目(人文系)などで不真面目な生徒が多いように感じて、授業の雰囲気も怠惰な感じがして好ましくなかった。出席点をとるならきちんと授業の始めに出席をとるもしくは出席カードは授業開始時にしか配布しないなどの工夫を要する。
- ◎もっと授業を入れて自分の限界を知りたかった。
- ◎自分がいちばんの熱意を持つ領域以外の分野に関して学習意欲を維持することの難しさを感じた。しかし、その分野に熱意を注ぐ人間を身近に見付けたことで、今までとは違った視点からそれを考えることができるようになった。
- ◎興味ないことを勉強するのはつらい。
- ◎楽しかった。が、思うように勉強できず、また自分の進路の決定につながるような体験もなかったことから、これから大学生活をおくる上での不安を感じた。
- ◎自分の興味ある分野、得意なもの、学び続けたい科目が見つからなかった。

- ◎自らの知的好奇心を大いに満たしてくれたと思う。しかし、そのためであれば、むしろ履修登録せず自由に参加したほうが試験にとらわれずに講義に集中できる、とも思う。
- ◎入学当初は勉強に対する熱意であふれていたのに、サークルやバイトが始まるとそちらに情熱が向けられ、勉強がおろそかになってしまった。非常に反省している。2回生からは、これらの反省点を踏まえしっかりと本腰を入れて勉強したいと思う。
- ◎授業によって教員の熱意が違うと思った。教科書の内容をそのまま聞くのは苦痛だった。教科書で理解につまづくと思われるところや、教科書にの内容外で面白いと思われる内容を話しているのを聞いている方が楽しかった。専門基礎科目は予備知識もあり、他の全学共通科目よりも熱意があるので授業でわからないところも時間をかけて調べられたが、他の分野で、教授の専門の話をしてもらえないし、予備知識を収集している時間も圧倒的に足りない。授業によっては文系理系分けてくれた方が双方のためになるのではないかと感じた。思ったより学生のやる気がないのだなあと感じた。専門外の内容には単位を取ることにしか興味を示さない、専門であっても理解が難しい内容だと理解を早々に諦めてしまう、そんな人と会話したり、会話が聞こえてきたりすることは苦痛だった。
- ◎人社群に理系にとっても面白い科目が少なすぎる。
- ◎先生方が当たり前としている知識が多く、学生には当たり前ではないことをもっと理解して授業をしないとやる気なくなるし学生に興味を抱かせることができないとやっぱりやる気がなくなってしまう。
- ◎専門科目を受講するうえでの基礎となったと思う。
- ◎理学部から全学に提供された自然群の科目を受けてみて、どの分野には興味があつてどの分野には不向きかが（うれしくはないが）よくわかった。また、「理系の皮をかぶった文系」の自負のあつたとおり、人社群の科目についてはかなり興味を持てた。
- ◎教室に収容できる人数を大幅に超える学生を登録可能にするのはいかなるものかと思ってしまった。
- ◎わりとつまらない。
- ◎高校までの学習内容との大きな差異を感じ、大学での学習や将来の研究に向けて必要となる知識や考え方のレベルを体験することで、主に自習によって各教科への理解をもっと深めなければならぬと感じた。
- ◎講義の内容も、先生の話も聞いていて理解して楽しかったことが多かったのですが、いくつか面白さを見失ってしまった科目を途中で放り出してしまったことが、心残りです。
- ◎教養科目や外国語の授業は不必要だと思います。特に英語について授業の内容がいい加減すぎて、受けている意味がないように感じた。現状では、授業を受けても英語力が伸びるとは思えない。試験の内容も、教科書を暗記すれば取れるものであるため、学生の英語力に関わらず単位が認定されたりされなかったりしているように感じる。本気で学生の英語力の育成を図りたいのであれば、※※のしているような授業をするべきである。  
理学部の先いはく、一二回生の間、英語の講義は受けていたが英語力は伸びず、本当に英語ができるようになったのは、三回生になって、専門書を英語で読むようになってからだそうである。こんなに意味のない授業はないほうがマシだ。
- ◎やはり自分の興味のない分野において真面目に授業に出席するのは苦痛以外の何者でもありませんでした。自由の校風を謳うのであれば、群の分け隔てをなくし、単位数だけで卒業要件を満たせるようにしてください。
- ◎これから学んでいく分野がどのようなものか大雑把に掴めた。
- ◎教授のやる気がないのに単位の判断だけ厳しかったり納得いかない部分が多い。

- ◎※※のような、野外に出て行う授業がもっとあればよいと感じました。
- ◎実用性に欠ける。
- ◎問 6 との重複になりますが広東語の講座を開いてほしいです(他大学で開講されているところもある)。京都大学の全学共通科目においては唯一この点が大変残念に思います。早期開講を強く希望します。
- ◎第二外国語はいらない。
- ◎自分の勉強量がたりなかった。
- ◎勉強しなければいけないと思った
- ◎一般教養科目は様々な分野の知識が入ってきて楽しかった。
- ◎興味深かった授業が多く、幅広い分野の知識を吸収できた。しかし、もっと専門的な話を取り入れるなど、より学生の興味を引くような授業があってもいいと思った。また、教室が広いのに字が小さくて、黒板が見えにくいことがよくあった。
- ◎高校の延長でつまらないなあ、出なくていいなあとおもうものが多かったです。
- ◎自分は理学部なので専門基礎科目として全学共通科目を受講することが多かったが、あくまで全学共通の分野なので、先生方にとってもあまり面白くないことなのだろうか、と思わせるような講義が多かったように思う。受講しているほうも退屈であったし、専門基礎科目に関しては、わざわざ講義に出席せずに自分で勉強した方が効率的であると思わざるを得なかったし、実際そうした方が効率的であったことを覚えている。
- ◎自然群より人社の先生の方が熱意を持っていたように感じ、面白かった。
- ◎勉強はしたが、いまいち進歩したという実感がわかなかった。
- ◎クラス指定の科目にそれぞれ割り当てられる教員の質や指導内容に甚だしいバラつきが窺えた。
- ◎面白くはなかった。
- ◎自分の興味のある講義を取らないと授業に行かなくなる事が分かった。
- ◎特定の分野に進むにしても教養は不可欠だから必要経費として受講した。熱意はなかった。
- 理系でも文系科目を受講できて、しかも先生方がとても優しく質問や相談に応じてくださったので、楽しく大学生活 1 年目を過ごすことができました。もっと様々な考え方が知りたいので、学習計画は学生の自己責任としてCAP制を改善していただきたいです。2 回生になって、さらに幅広くいろんな学問分野に触れたいという気持ちが強くなりました！

## 7. 7 医学部

- ◎情報交換の大切さ。
- ◎いわゆる楽単科目はとても楽ですが、あまり面白くない。面白い科目は意外と少なく、その科目についての情報をもっと出回ればいいのと思った。
- ◎自分が進むであろう世界と他の分野の世界の人々への理解が少し深まった。人間性の豊かな人物になりたいと思った。
- ◎とりたい科目が同じ時間に会ったり、学部科目と重なったりしたため、履修できないものがあった。また、履修制限科目で、登録できるにもかかわらず履修しないあるいは出席しない学生もいるのだから、外した学生にその分を回してほしかった。
- ◎多様な科目が開講されており、自分の専攻と全く関係のない面白い内容まで学ぶことができた。一部科目でシラバスを無視した内容(シラバスの記載と反対のことを言っていた場合もあり)で進められたため、もう少しシラバスに忠実な授業にしてもらえるとありがたい。
- ◎勉強の効率性の重要性。

- 私は理系学生ですが、文系科目にも非常に興味があったため、京都大学を志望しました。実際、全学共通科目では文学部や法学部のための授業も受けることができ、とても興味深かったです。
- もっと、ディスカッションや、インタビュー等の時間を授業中にとって欲しかった。授業以外では、参加出来たり、できなかつたりするし、お金もかかる。授業中の方が、理解も深まり定着も良い。ポケットゼミは、もっとわかりやすい形で提示してほしい。先輩などがある人といない人とで格差を感じた。情報がある人しか受講できないように思える。
- 医学部では1年間ほとんど専門科目がなく全学共通科目だけということで、初めのころはモチベーションが少し下がってしまいましたし、前期はとにかく単位を揃えないという焦りでとてもしんどかったです。しかし、後期では余裕もでてきて、自分の興味のおもむくままに様々な分野の授業をまんべんなく受講できたので、楽しく勉強することができました。また、授業を通して他学部の友達が数人できたのも良かったです。
- 違う学部の人と一緒に授業を受け、話し合ったりすることができ、すごく楽しかったし、私自身勉強になりました。レポートに追われ、いつの間にか朝を迎えたこともありましたが、良い経験でした。また、先生方もユーモラスで、やはり京大でしか学べない、素敵な先生たちばかりで、改めて京大生で良かったと思いました。
- 授業の難易度のばらつきが大きいと思った。
- 専門以外の内容の授業が面白かった。
- 自分の知らない世界の大きさを感じることができ、よい刺激を受けることができた。
- 興味のある分野が大体しぼられた気がします。
- 新しい分野の学問を学ぶことができ、幅広い知識を得ることができて面白かった。
- 高校でも学ぶことができない、自分の専門分野でも学ぶことが出来ないような分野を学ぶことができてよかった。専門分野以外の学問に興味を湧いた。小クラスの般教では、他学部の人も交流できて、よかった。
- 自分はやらされなければやらない人間なのだと感じたので、もっと意欲的、自主的に勉学に励まなければと思いました。
- ネットで講義の動画を見れたらいいと思う。
- 今まで知らなかったことをいっぱい学べて楽しかったです。
- 専門とは関係のない分野の話が聞けてとても興味深かった。
- 専門科目が本格的に始まるまでの1回生の時期に、様々な学部の学生と触れ合い、様々な研究所に所属している教授たちの講義を受けることができ、将来の専門科目の勉強で役立つような内容だけでなく、文理や学部の専攻を問わず多種多様な教養を身につけ自分の視野を広げることができました。吉田南の校舎、特に4号館は人数が多いにもかかわらずとても狭く、場所取りをするだけでも大変でスライドや黒板の図も十分に見えないことが多かったので、改善できるといいと思いました。
- 期待外れの講義もあって、特に後期は眠気におそわれることが多かったが、中には期待以上にとても興味深い内容の講義もあって、自分の教養を広げるためにはとりあえずさまざまな講義をうけてみるのが大切なのだなと感じた。
- 教授が授業内容を楽しそうに話していると、こちらも内容が入ってきやすく、良かった。

## 7. 8 薬学部

- ◎興味のある分野や、これからもっと学ばなければならない分野が明確になりつつあると思った。
- ◎正直、あまり有意義なものでなかった。
- ◎全学共通科目において教養を身につけるとともに、発表したりグループ活動を行ったりしてコミュニケーションの機会が得られたのは良かった。これは入学時には期待していなかったものの、京大生にとって非常に重要なことだと感じた。
- ◎もっと真面目に取り組んでおけば良かった。この一年で頭が悪くなった気がする。勉強以外では充実していた。勉強も同時にしっかりとしておくべきだった。
- ◎幅広い知識が得られて満足しました。
- ◎さまざまな分野の専門家の話を聞くことができ、自分の考えの幅が広がったと思う。
- ◎世の中には自分が思いもしなかったような考え方があるということ。
- 当初より勉強しなくなってしまった。未来を見据えて今どう行動すべきかもっと考えられるようになりたい！
- 面白い科目もあるが、それを見つけるのは非常に困難である。
- どの科目でも、内容を突き詰めていけばきりがなく、学ぶことの終点がないのが難しい。自分で、ここまで理解したらいい、ここまで覚えたらいい、という妥協点を作りつつ勉強している。
- 自分の興味のあることを、視野を広く持って学ぶのは大切だと考えた。
- とても楽しかったです。

## 7. 9 工学部

- ◎特に自然群の授業で熱意の見られない、わかりにくい教員が散見された。また、恐らくではあるが、自身の研究者としての仕事が多忙で、授業の質が低くせざるを得ない教員が多く気の毒に思えた。
- ◎4きょー30みたいな広い教室でやる講義はたとえ単位が取りやすくても講演会みたいでおもんなかった。逆にポケゼミやゼミナールのように教員と直接関われる科目はやりがいがあった。
- ◎いろいろな先生の授業を受けて、自分になかった考え方を学ぶことができてよかった。
- ◎興味ある科目を勉強できることは楽しい。
- ◎全学共通科目は自分の勉強意欲を掻き立てるものが少なく、力が入らなかった。もっと大学でしか学べないような意味のある授業を受けたい。
- ◎英語の先生の英語学習に対する熱意を感じた。授業は一種の話題提供であって学生の自発的、自立的学習姿勢によって授業から得られるものは大きく左右される。要するに生徒のやる気次第。数学の先生の熱意がまるで感じられない。理学部の教授だろうが工学部の学生ということを考えて授業をして欲しい。
- ◎最終的には惰性で授業を受けていたと感じる。
- ◎京大生といえども、目先の単位にとらわれて、世界を見ていない人が多い。
- ◎悩みとの向き合い方。
- ◎地道にコツコツが一番だと感じました。
- ◎クラス指定科目を受けても、それが将来的にどこで役に立つのかが分からず、時々授業を受ける意味があるのかどうかを考えてしまった。
- ◎とても充実した1年を過ごすことができた。

- ◎単位がとれません。
- ◎らくちんやった。
- ◎結局京大も勉強せなあかん。学習の先に何があるのかまだ見えないので、意欲が沸かない。  
先輩方は就活に必死になるが、この大学生活の先にあるのが就活なら尚更意欲が沸かない。
- ◎全額共通科目の授業がつまらない。
- ◎しんどい。
- ◎興味があるものは面白い。第二言語は本当に必要なのか。
- ◎どのような分野でもやはり幅広い知識が要求されるのだなとあらためて感じました。
- ◎一流の人の授業が受けれて刺激になった。
- ◎とりあえず単位を取るということだけが目標となってしまう、学習内容自体に関心を持つことは少なかった。入学から時が経つにつれ、やる気の低下が顕著だったように感じる。もちろんそれは自分のせいではあるのだが、テスト直前にパパッと勉強するだけで単位が取れる全学共通科目が多く、日頃から勉強する気が起きなかったというのも原因だったかもしれない。
- ◎自然系の授業では分かりにくいものが多かった。特に物理の授業では、高校まででは物理で扱わなかった微分積分の知識や計算など（偏微分や微分方程式を含めて）をほとんど説明なしに導入され、ついていけないものが多かった。なぜそれを使えば問題が解けるのかが分からなかった。
- ◎世界は広い。
- ◎授業の予習がしづらかった。次回の予告をしてほしい。
- ◎学生が発信している、所謂楽単の講義情報を我々だけでなく教授の方々も受け取っており、講義の内容や期末試験の難易度、出席と試験の点数の兼ね合いなどを教授たちがかなりぞんざいにしていること。それによって学生たちもある種の教養として講義を選ぶのではなく、単位の数字を集めるためだけの作業として講義を選択している今の状態は疑問である。学生と教授のどちらも怠慢な者が多いように見受けられる。
- ◎非常に面白かった。
- ◎一回生の学習内容であるからかもしれないが、全学共通科目で学ぶ内容と、専門の※※で紹介される内容にもものすごく差を感じた。
- ◎人社群の科目について、シラバスに書いてある内容に興味を持って受講したのにその期待とかけ離れた授業が展開されていることが多かった。
- ◎デザイン工学系の授業をもっと増やしてほしいと思いました。
- ◎もっと楽に単位がほしい。
- ◎授業中に学ぶ楽しさを感じる授業が少なく、そのような授業に出る気があまりわからない。もっと上級な講義を受けたい。
- ◎知識や技能を身に付けるよりも、自分の思想を発展させていくことを楽しく感じていて、そのための参考になる考え方として全学共通科目(やそれに関連する分野など)の勉強をするという意識で臨んでいた。実際にその意味で授業を活用できたものもあり、それは良かったと思うけれど、その思想を捉えきれずにただ技術的に練習して知識を使えるようになっただけのものや、それすらもできなかったものもあって、自分の能力的に残念だった。
- ◎早く専門科目の勉強をしたかった。
- ◎授業内容が難しく、勉強が大変なこともあったが、どの授業も非常に興味深くやりがいがあった。
- ◎どうせ授業に出ない人が一定数出るのだから、受講制限をもっと緩くして欲しい。

- ◎様々な知識を身につけることができた。
- ◎本当にその授業を受けたいと思っている人がその授業を受けられる仕組みを作ってほしい。授業がいつから始まるのか、ガイダンスはいつ行われるのか、コースの発表はいつなのかなどの情報をもう少しわかりやすく提供してほしい。
- ◎自分の勉強不足。サークル活動等を理由にはいけないけれど、時間が確保出来ていなかった。
- ◎どうしても午前中の授業が、通学時間が長いために、あさ早くに起きる必要があり、出席率が下がり、理解度が低下してしまった。しかし、午後の授業など、ほぼ全て出席した授業は比較的理解も深まり、面白かった。
- ◎授業が興味深くありません
- ◎本を読んでもだけでは何も勉強にならないということをこの一年間で学びました。
- ◎高校の時のような問題集が充実していたら、勉強しやすいと感じた。
- ◎工学部として入学しましたが、農学系や人文系の分野にも強い興味を抱くことができました。最終的に工学の道を進むことにしましたが、多面的な複数分野からの視点で問題を捉えることができるように意識していきたいと思うようになりました。
- ◎高校までとは違って、多くの教員の方が授業に対して熱意を持っておられるように感じました。ご自分の分野について熱意を持ってお話してくださるので、授業の内容が頭に入りやすかったです。
- ◎COCOLO 域の授業は良かったです。
- ◎いろいろな授業があって楽しかった。
- ◎高校時代との勉強方法のギャップに初め戸惑いました。しかし、自ら主体的に学習するやり方になれてからは、先生方の授業の進め方に非常に満足を感じるようになりました。
- ◎数学の奥深さが面白かった。物理法則を解くために数学があるという概念がより一層わかるようになり、学習意欲が湧いた。
- ◎第二外国語間の単位取得難度の違いが大きすぎて不満です。
- ◎人社群は専門外のいろんな知識が知れるので面白かった。
- ◎高校までは、予定されている講義に出席するのは当然でした。たとえ興味がなくとも、必ず出席せねばならず、それが面白くありませんでした。しかし、大学では、自分の関心に沿って自由に講義を取捨選択できます。誰に指図されることもなく、好きなように学習ができる点。これになにより感動しました。
- ◎人社群には、自分にとって興味のわく楽しい授業が多かった。
- ◎大学ならではの適当さ。
- ◎シラバスと授業内容の差。
- ◎高校での勉強と大学での勉強の内容や方法の違いに対して、どのように対応していけば良いかに悩んだ。
- ◎自然群は勉強が大変だったけど、自分のためになったと感じた。
- ◎一回生では、教職関係の科目やクラス指定科目の履修が多かったのも、二回生では興味のある科目を勉強してみたい。授業にやる気のない教官がいても場合によってはそれでもいいかもしれないと思うが、どうせなら楽しみながら勉強したいと思う。
- ◎自分の専門分野以外の勉強を幅広く学べ、中にはあまり身につかなかったものもあったが、非常に有意義な授業もあった。
- ◎自然群の講義において、今習っている現象が、どのように現代社会で応用されているのかとあったところをもっと教えて頂きたかった。

- ◎専門授業が難しい。
- ◎授業を聞いて真面目にノートを取るより、問題集を買ってといたほうが成績がよくなる。自学自習だけやればよい。授業は必要ない。と、とある教授も言っていたし自分もそう思った。
- ◎気がつくと一年が終わっていたので、どこまで自分が力をつけることができたのか不安ですが、これからの専門科目や実験は大変楽しみにしています。
- ◎高校までのただ問題を解くだけの勉強とは違い、本当の学問の一部に触れることができた気がした。
- ◎どの科目もよっぽどの事をしなければ、単位は取れるのだなと思った。だから、楽単とかの情報に踊らされずに自分が興味ある内容を勉強するべきだと思った。
- ◎受身で講義を受けてもなかなか内容が身に付かないことを実感した。また、勉強の仕方やかける時間を慎重に決めて取り組むようにしようと思った。単位を集めることだけを目的とせず、自らの学習意欲に任せて履修科目を選ぶようにしようと思った。
- ◎勉強の仕方を忘れてしまった。
- ◎講義に出席する意義がわからない。
- ◎自然群(とくに数学科目)は学生が授業のレベルが高すぎてについていけないことが多々あったので、教員は工学部出身の方を採用して工学部の学生でもついていけるレベルの授業にするか、もしくは基礎的なことからしっかり丁寧に教えてほしい。
- ◎高校の時の学習内容とは異なる点が多くまだまだ学ぶべきことが多いと実感しました。
- ◎履修前は全く興味がなかった分野の科目も履修してみるとその科目を学ぶ楽しさがわかったので非常に意義があったと思いました。
- ◎大学では、高校では習うことのなかった細部まで習うことが出来、自分の知識や勉強についての考えが深まった。
- ◎結局単位を取るためだけのものになってしまい、何一つ身に付いた気がしなかった。
- ◎もっと頑張らないといけないと思った。
- ◎さらに勉強を頑張っていこうと思いました。
- ◎数学は丁寧に説明してくださって本当に助かりました。化学や物理の科目で教科書の内容よりも、今研究の世界では最前線でどういったことが行われているのかを興味を抱いて受講できるような科目がほしかったです。
- ◎より学生が自身の関心に基づいた授業選択のできるシステムにしてほしい
- ◎自分が思っていたほど自然群の科目の点数が取れなかった。流石に、周りの人達が賢かった。コース配属、研究配属時の成績優先条件についての詳細が記載された資料をあらかじめ配布しておいて欲しかった。せめてテスト範囲だけでいいので、テキスト問題集やプリント問題の解答を配布して欲しかった。※※は興味を持てる非常に有用な内容でした(実習)。単位は降ってこなかった。
- ◎実験のレポートの書き方にルールがたくさんあって、とても驚いた。
- ◎単位のために履修したため、あまり身につかなかった気がしてならない。だが※※は興味深く、受講してよかったなと思いました。※※には感謝しています。2回前期も※※の※※を引き続き受講したいとおもっていたのですが、人は単位そろっているのに、他の生徒の枠を奪ってまで履修するのは悪いと思い断念しました。もし時間があれば3回のときにでも受講したいです。
- ◎一口に一般教養といっても教員によって様々な授業があり、できることならもっと自由に講義を受けたかったが、いかんせん学科の定める単位の取得のため、またキャップ制のために受けたくとも受けることのできない講義があった。少し心残りだ。



- ◎様々な学部の人が出て興味深かった
- ◎人社群においては、自分の興味のある科目を選択し、履修することができたのが良かった。
- ◎いろいろ試しているうちに、時間が過ぎてしまった。もっと時間がほしいが、それはどうにもならないことである。特に、自分で調べたことは記憶に残っていると思う。
- ◎来季は頑張ろう
- ◎同じ科目でも、先生が違くと授業内容やテスト難易度、成績評価の仕方など様々な違いがあると感じた。
- ◎時間が経つにつれ徐々に気力が失われていくことを実感した。
- ◎幅広い知識が得られてよかった。
- ◎理系が人文社会系の授業を取る意味があまりないように感じた
- ◎教養が深まったかなと思わせるような講義があつてよかった。高校までとは一変した授業に最初は戸惑いを覚えたが、慣れてくると、大学の授業も楽しいかなと思えるようになった。
- ◎もっと熱心に勉強しようと思いました。
- ◎工学部だったので、理系科目はクラスで取り、人社群を選んだ。いままでの高校での時間割は、たとえば社会一科目を選ぶ、というもので味気なかったが、様々な授業を取ることをできて自分の教養が少しでも身についたと思う。
- やるきのもんだい。
- 専門知識をもっと身に付けたかったんですが、微分積分と線形代数の知識はやはり不足だと思います。人社群の授業は本当に面白かったんです。授業中に先生とクラスメートとの交流ができました。
- 語学は特に熱意を感じる授業が多かった。
- 期待していたほど面白い講義は少なかった。教科書に載っているようなことだけでなく、教授がこれまでに体験してきたこと、現在取り組んでいる研究の話などを聴きたかった。
- 他学部は専門科目として各学科の基礎となる勉強をすることが多いのに対し、工業化学科は有機化学や物理化学など、専門の基礎となる科目が全学共通科目に含まれているため、そこにキャップ制を導入したことに疑問を感じる。

## 7. 10 農学部

- ◎幅広く学べてよかった。
- ◎分野が何であれ、真面目に勉強するのが大切だと思いました。
- ◎入学当初思っていたよりもゆるい勉強の形で、自分で集中して取り組もうと思わないと力が出ない
- ◎勉強にたいしてあまり意欲がわかなかつた。課外活動に終われているばかりだからだと思ふ。今期から講義にも積極的に参加したい。積極的に参加したいと思える講義を見つけたい。
- ◎色々な教養が得られて満足しました。どの授業も個性にあふれ楽しかったです。
- ◎色々な分野の専門の先生方の授業を聞いたのは非常によかったと思う。熱意のある先生もたくさんいてこちら頑張ろうと思ったが、一部の先生は全く熱意がないように感じられた。それは僕達生徒のやるきのなさが原因かとも思うが、先生に熱意が感じられないとこちらでも授業を熱心に聞こうとは思えない。
- ◎大学では自ら進んで学びたいことを学ばなければならないということを感じた。
- ◎勉強が忙しすぎました。
- ◎受けた講義を受けたかった

◎※※は闇

- ◎教養を身につけるといふ点ではとても役に立ちましたが、あまりに量が多かったり重要どころが分かりにくかったりと、最後に試験勉強をするには難しかったです。
- ◎正直なところ授業に全く出ていないような人間でも単位が取れるというのはおかしいと思います。少なくともきちんと出席している生徒側の熱意が伝わらないような現在の形式は間違っていると思います。
- ◎興味があって取りたい科目がいわゆる楽単で抽選があったので避けなければならなかったのが悔しい
- ◎数学で、問題を出題するだけでなく、解答を渡してほしい。ライディングでも書いたエッセイは返却して、どこが悪いか教えて欲しい。
- ◎頑張ろうと思った。
- ◎専門授業では学べない幅広い知識を得ることができて視野が広がったように思います。
- ◎様々な分野に振れることができて楽しかったです。しかし、シラバスから想像した授業内容とあまり一致しない科目も多かったです。同じコマに興味のある科目が複数あった場合、1回目の授業にはそのうちの一つしか出席できないため、どれをとるか、判断が難しかったです。また個人的には、英語講義がもっと栄えてくれると嬉しいです。
- ◎講師の質の向上、はっきり言って教員免許がいらないためか授業の仕方が下手な講師が多い。かつ、語学の単位制度の編成。英語の授業は高校からの進歩が見受けられず、実力も向上は見込めない内容である。一方、英語での講義のほうが英語の授業と言えるものであった。なので、英語での講義の単位を自然群2単位ではなく、外国語の単位として認定されるようにすれば、受講者も増え、学生の語学力も向上すると思える。
- ◎初めて自分から勉強をしななければならない環境に出会った気がします。
- ◎周囲との差がすごく痛感された。自分が受けたと思って受けた授業も他人にとってはそうではないこともあり、周囲が騒々しくて授業に集中できないことが多々あった。
- ◎教授たちの授業の片手間感を強く感じた。学生にわからせようと工夫して授業していると感じる教授はわずかであった。
- 高校までの授業と違ってなんとかして教えてあげようとする環境ではなく自分で努力して学ぶということに難しさを感じた。教授方は深い知識がおありなので色々話してくれてはいるが、それが話の幹の部分なのか枝の部分なのかも分からず、次第にすべて理解できなくなりあまり意欲が湧かなくなっていったのだと思う。
- 幅広い分野が勉強できて面白かった
- クラス指定科目があるために、履修したい科目を履修できないことがかなりあった。
- 本当に受講したい講義が「楽な科目」として認識されていたために抽選に漏れて受講できなかったことにやや不満を感じました。また、リレー講義がだんだんと廃止されていくと聞きましたが、受講してみて、先生によって同じ物事でも捉え方が異なっていて、毎回講義が楽しみであったので、ぜひ継続してほしいと思いました。
- 様々な講義から興味のあるものを選んで受講することで、将来の研究分野についての視野が広がったように思います。
- 何にせよ、自ら考え、行動しなければ何も得ることは出来ないが、反対に自ら行動を起こせば周りの教員の方々や学友が救いの手をさしのべてくれた。大学生としての在り方に決まりは無いが、とにかく自分から動かなければ何も起こりえないということのを体感した。
- 先生の話をもっとききたい
- 面白い科目があって興味深く聞いていました。

- 様々な分野の知識が身についたと思う。
- 物理選択で農学部にはいったので、大学の授業で生物を一から学ぼうと思っていた。だが、クラス指定の生物しか一回生では取ることができず、農学部のクラス指定なので先生もみんな知っているものと授業を進めるので全くついていけなかった。中学校以来生物を学んでいない人もいることをわかってほしかった。
- 明らかに教室が狭すぎるものなどがあり、改善の必要性も感じた。また教員の授業に対する工夫がもう少しあるべきではないかと思った。ただ配られたプリントやスライドを読むだけならば自習のほうが効率的なのではないかと思う授業もあった。
- どちらといえば、授業には全部満足です。ただ大きいクラスでは先生とコミュニケーションするのは難しく、楽しさがちょっと減ってきましたが、クラスが大きい故でそれは仕方ないとわかっています。
- 不真面目に受ける学生が多くモチベーションを保つのが大変な授業がわりとあった。高校の頃とは全く違う、その分野の専門の先生の話が聞けるといえるのはおもしろかった。



問3 あなたが1回生のときに履修した全学共通科目についてお尋ねします。

**A (満足した科目)**

あなたが特に満足した科目をいくつか思い浮かべてください（もし満足した科目がなければBに進んでください）。

下記の表に、それらの科目名（3つまで）をご記入ください。登録群は、人社、自然、外国語、現社、拡大のうちの1つを選択してください。また、それぞれの科目について満足した理由として、あてはまるすべてのものに□チェックをつけ、最も重要なもの一つを選択してください。

**科目1**

科目名：(自由記述)

登録群：(人社・自然・外国語・現社・拡大から選択)

あてはまる理由すべてにチェックをつけてください

- 1 授業の内容が興味深かった
- 2 学生の予備知識や理解度をよく考慮してくれた
- 3 授業の進め方に工夫がみられた
- 4 担当教員の熱意を感じた
- 5 成績評価の方法や結果に納得できた
- 6 その他（自由記述）

上記のうち、最も重要なものを選んでください（1～6から選択）（ ）

(以下、科目2、3も同様)

**B (不満だった科目)**

あなたが特に不満だった科目をいくつか思い浮かべてください（もし不満だった科目がなければ問4に進んでください）。

下記の表に、それらの科目名（3つまで）をご記入ください。登録群は、人社、自然、外国語、現社、拡大のうちの1つを選択してください。また、それぞれの科目について不満だった理由として、あてはまるすべてのものに□チェックをつけ、最も重要なもの一つを選択してください。

**科目1**

科目名：(自由記述)

登録群：(人社、自然、外国語、現社、拡大から選択)

あてはまる理由すべてにチェックをつけてください

- 1 授業の内容に興味を持てなかった
- 2 学生の予備知識や理解度を考慮してくれなかった
- 3 授業の進め方に工夫がみられなかった
- 4 担当教員が不熱心だった
- 5 成績評価の方法や結果に納得できなかった
- 6 教室環境（広さ・設備など）に問題があった
- 7 その他（自由記述）

上記のうち、最も重要なものを選んでください（1～7から選択）（ ）

(以下、科目2、3も同様)





## 平成27年度2回生進級時アンケート報告書

---

平成28年2月 発行

編集 京都大学国際高等教育院

発行 京都大学国際高等教育院

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町

Tel 075-753-6690/6513

---